

特別版

GIGA
スクール構想
に対応!

できる[®]

ICT 授業

Teams for Educationと
Microsoft 365で
実現する対話的な学び

清水理史 & できるシリーズ編集部



シリーズ
累計 **7500万部突破**^{※1}

ベストセラー
売上 No.1^{※2}

※1: 当社調べ ※2: 大手書店チェーン調べ

課題とゴールの提示

意見の比較や考察

実践事例

対話的で深い学びをICTで実現!
授業の実践例がよくわかる。

インプレス

本書の読み方

レッスン

見開き2ページを基本に、**やりたいことを簡潔に解説**

●**やりたいことが見つけやすいタイトル**
「○○をするには」や「○○ってなに？」など、「やりたいこと」や「知りたいこと」がすぐに見つけられるタイトルがついています。

●**機能名で引けるサブタイトル**
「あの機能を使うにはどうするんだっけ？」そんな時に便利。機能名やサービス名などで調べやすくなっています。



ヒント

レッスンに関連した、さまざまな機能を紹介したり、一歩進んだ使いこなしのテクニックまで解説します。

テクニック

レッスンの内容を応用した、ワンランク上の使いこなしワザを解説しています。身につければパソコンがより便利になります。

右ページのつめでは、**知りたい機能でページが探せます。**

手順

必要な手順を、すべての画面とすべての操作を掲載して解説します。

Point

操作の要点をていねいに解説。レッスンで解説している内容をより深く理解することで、確実に使いこなせるようになります。

※ここで紹介している画面はイメージです。本書の内容と異なります。

●用語の使い方

本文中では、「Microsoft® Windows® 11」のことを「Windows」と記述しています。本書では、Windows 11の環境で画面を採取しています。本文中で記述している用語は、基本的に実際の画面に表示される名称に則っています。

●本書の前提

本書では、「Windows」がインストールされているパソコンで、インターネットに常時接続されている環境を前提に画面を再現しています。

●本書に掲載されている情報について

本書に掲載されている情報は、2022年11月現在のものです。本書の発行後に、情報が変更されることもあります。

「できる」「できるシリーズ」は、株式会社インプレスの登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の登録商標または商標です。

なお、本文中には™および®マークは明記していません。

Copyright © 2022 Masashi Shimizu, and Impress Corporation. All rights reserved.

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

巻頭言

本書を拜見して驚くことは、あの使い慣れたExcel（エクセル）が「対話的な学びのツールにもなる」ということです。一般には表計算ソフトとして分類されてきたものですが、クラウドの時代になって一変しました。

これまでは、自分一人で、集計・グラフ化などのデータ処理や、名簿などの表を作成するために日常的に活用してきたExcelです。しかし、クラウド時代になって、Excelは複数の人が同時に書き込める「共同作業のためのワークシート」としての役割までも担うことになったのです。



Teamsの画面を開き、そこにあるExcelを選択すれば、そのTeamのメンバーなら誰でもがExcel上で出会えます。あるセルに自分が何かを書き込んでいる最中でも、別のセルに誰かが書き込んだ文字が突然現れます。大きな模造紙を前にしてグループメンバーが顔を突き合わせて同時に書き込んでいるようなことが画面上で起こります。同時共同編集などとも呼ばれる共同作業がExcel上で可能となったのです。

今や、分担して入力したデータを誰かの元へ集めて合体させるなどの作業は不要です。最初から、同じファイルに各自が分担分のデータを入力するだけです。順番を待つ必要もありません。どの行や列が自分の責任範囲であるかが明確なら、同時に作業しても大丈夫です。全員の入力が終わった時点で、表は完成です。

TeamsとExcelが作り出す新たなこの環境は、学習指導要領で示されている「対話的な学び」のための学習環境としても最適なものと言えます。決して分担作業ができるからではありません。もっと積極的な共同制作のためのツールとして活用できます。さらには、多様な個が協働して新たな価値（考え方、情報など）を創造する場として活用できます。児童生徒の書き込みを単に共有することだけでは新たな価値は生み出せません。友だち全員の書き込みをじっくり吟味する時間と、それに触発されて自分の考えをより良いものとして再度入力するための時間の確保が鍵となります。

これまで先生が説明していた深い内容にまで、児童生徒だけでたどり着ける可能性が出てきました。先生の新たな役割が問われる時代になったとも言えます。

対話的な学びのためのExcelの活用方法の詳細は本書をご覧ください。具体的な操作イメージ、望ましい授業のイメージをきっとつかんでいただくことができると思います。

目次

巻頭言	1
-----	---

第1章 Teamsで授業を始めよう 3

① 対話的で深い学びを実践するには <ICTによる対話的で深い学びの実現>	4
② 対話的な学びのための授業展開 <意見の書き込み、吟味、修正>	6
テクニック 授業時間に余裕がある場合は「展開4」の実施も検討しよう	13
③ TeamsでExcelやホワイトボードを使うには <Excelファイルの作成と共有>	14
テクニック Teams上のファイルをパソコンにダウンロードするには	17
テクニック 評価を記入したり並べ替えたりできるようにしよう	17
テクニック ホワイトボードも活用しよう	21
④ 対話的な授業の実践例を見てみよう <授業の実践例>	22
事例 渋谷区立千駄谷小学校	22
事例 聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校	26
この章のまとめ	28

第2章 チームとチャンネルをうまく使おう 29

⑤ チームとチャンネルを使い分けるには <チームとチャンネルの基本>	30
⑥ チームとチャンネルの構成事例 <チームとチャンネルの構成例>	32
事例 大阪市立北鶴橋小学校	32
事例 東京学芸大学附属小金井小学校	33
事例 聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校	34
事例 岐阜県教育委員会	35
この章のまとめ	36

付録 Microsoft 365 Education って何？	37
---------------------------------	----

第1章

Teamsで授業を始めよう

ICTを活用して「対話的な学び」を授業で実践するには、どうすればよいのでしょうか？ この章では、Microsoft TeamsからExcelの表を共有することで、児童生徒が書き込んだ意見を共有したり、お互いの意見を吟味したり、自らの考えを改善したりできる授業の進め方を紹介します。

●この章の内容

- ① 対話的で深い学びを実践するには 4
- ② 対話的な学びのための授業展開 6
- ③ TeamsでExcelやホワイトボードを使うには 14
- ④ 対話的な授業の実践例を見てみよう 22

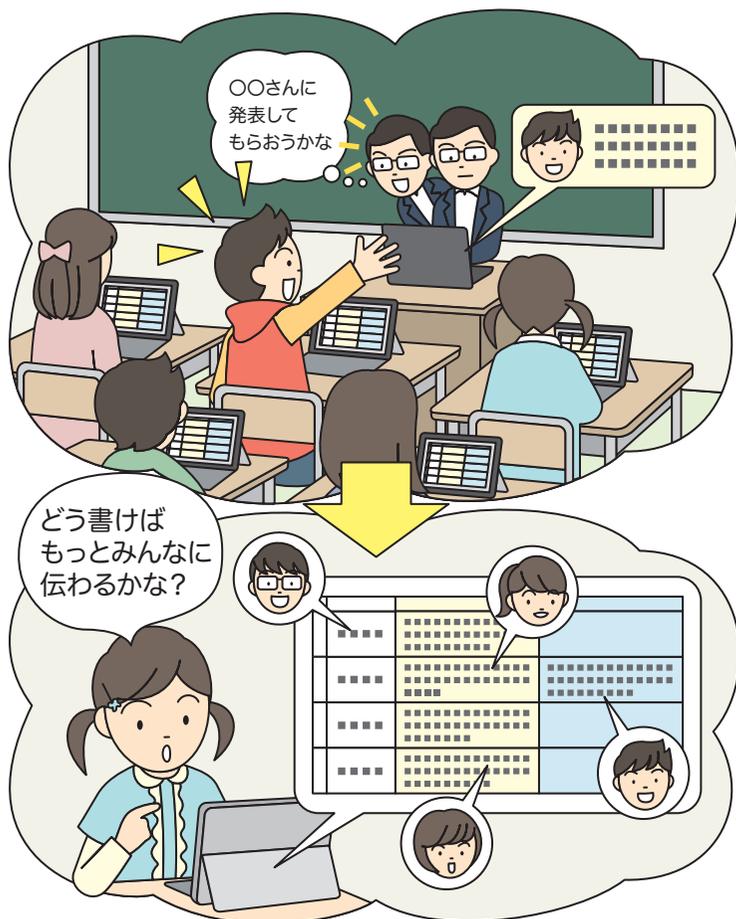
対話的で深い学びを 実践するには

ICTによる対話的で深い学びの実現

「対話的で深い学び」を実現できていますか？ ICTを単なる情報共有ツールで終わらせるのではなく、児童生徒が自ら考えを深めるための場として活用しましょう。

ICTを使った授業を「対話的で深い学び」に発展させよう

授業でパソコンやタブレットなどのICTツールを利用する機会が増えてきました。しかし、せっかく、すべての児童生徒がお互いの情報を共有したり、意見を交換したりできるのに、結局、データの入力だけで終わってしまったり、限られた児童生徒の意見発表だけで授業が終わってしまうことはありませんか？ 「対話的で深い学び」を実現するには、クラス全員、すべての児童生徒が他者から刺激を受けたり、自分の考えをより深めたりする場が必要です。効果的にICTを活用することで、「対話的で深い学び」につながる場を用意しましょう。



HINT!

「主体的な学び」とは？

学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」として、「対話的」だけでなく、「主体的な学び」も定めています。本書では「対話的で深い学び」の実現を主な目的としていますが、対話的な学びを展開する過程で、自らの考えが広がることで、学ぶことへの興味や関心を持ち、振り返って次の学習につながる「主体的な学び」へとつながる効果も期待できます。

HINT!

利用するICT環境は？

本書では、利用するICT環境として、Microsoft Teamsを想定しています。ただし、実際に利用するツールは、身近なExcelとなりますので、クラスでExcelの表を同時共同編集できる環境さえあれば本書の授業を実践できます。

HINT!

学年を問わず活用できる

本書で紹介する「効果的な『対話的な学び』のための授業展開計画」は、小学校、中学校、高等学校を問わず、どの学年でも活用できます。特別な準備も必要ないため、普段の授業に取り入れやすくなっています。

「対話的で深い学び」のための授業展開計画

「対話的で深い学び」をICTで実現するには、さまざまな方法が考えられますが、本書では、以下のようなフレームワークを活用します。授業を展開1～展開6までの段階に分け（本書では展開4は省略）、一連の学習活動で対話的な学びが実現する授業展開の方法を解説します。クラウドを活用した情報共有機能によって、友だちの考えと自分の考えを比較・吟味できるようにすることで、お互いに刺激を与え、自分の考えをさらに良いものへと修正する授業を展開できます。

効果的な「対話的な学び」のための授業展開計画 v2.0

○○学校、授業者：○○○○			
学年・クラス	教科	単元	
○年○組	○○	○○	
本時の目標 (教科などの目標)	○○○○		
ICT活用の目的	○○○○		

学習活動	指導(指示・発問)	使用ICTツール	時間(分)
展開1 課題			
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 注:「調べる」「まとめる」や答えが一律に決まっている課題は適していません。			00
展開2 課題に対して自分の考えをタブレット/パソコンに書く			
「□□□□□□□□」について、自分の考えを記入する。	「△△△の先生が指示する欄に、自分の考えを入力してください」	・Excel ・ホワイトボード	00
展開3 タブレット/パソコン上で友だちの考えを吟味する(展開4が同時の場合も可)			
「□□□□□□□□」について、友だちの書いた考えをいろいろ比較する。 ・友だちの考えと自分の考えを比べる ・気付いたことを全体に発表する	「自分で操作して友だちの考えを見よう」 ★適宜次の指示をする ・自分と同じ考えは誰ですか ・似ている考えはどれとどれですか ・仲間分けをすると、いくつのグループになりますか ・誰の考えを詳しく聞いてみたいですか 「気付いたことを発表してください」	・友だちの考えを見るときに、多くの操作が必要ないよう、できるだけ1つのファイル内ですむように、展開2で工夫しておく	00
展開4 友だちの考えに対して質問や意見を書く(省略可)			
「□□□□□□□□」について、友だちの考えに質問や意見を書く。	「友だちの考えに対して、コメントを送りましょう」 ・質問、意見、感想など		00
展開5 友だちの考えを知って、自分の考えをより良いものにする			
「□□□□□□□□」について、友だちの考えやコメントを見て、自分の考えをより良いものにする。	「友だちの考えやコメントを見て、自分の書いたものをより良いものにしましょう。誰の考えに影響されたのか変化の根拠も明記しておきましょう。」 ・変更する/分かりやすくする/新たなものにする/強固にする ・変化の根拠(誰の考えに触発されたか) 「どのように変わりましたか。発表してください」	・最初の記述は残し、修正した考えは別の領域に入力して、比較できるようにする	00
展開6 よりよく修正された考えを友だちと共有する			
「□□□□□□□□」について、友だちの今の考えと、その変化の根拠を知る。	「友だちのより良くなった考えと、変化の根拠を見てみましょう。」 「誰の学びに感心しましたか?」		00

学習活動②、③(必要によって、①と類似の展開が繰り返される)

©EstRose

提供：東原義訓

HINT!

授業内容に合わせて展開を工夫しよう

本書では、後述する授業の例で、「効果的な『対話的な学び』のための授業展開計画」の展開4を省略しています。授業時間に余裕がある場合は、展開4も含めて授業での展開を検討しましょう。

HINT!

2～3回試してから独自の発展を目指そう

本書は、「対話的で深い学び」を実践するためのひとつの方法を示したものであり、特定のツールの使用や授業のやり方を強いるものではありません。本書で紹介した授業展開に沿った授業を2～3回試み、児童生徒に成果が表れてコツがつかめたら、このモデルを離れ、ご自身の授業設計の中にその勘所を反映して発展させていくとよいでしょう。

Point

クラス全員が刺激を受け、考えを深める

本書では、限られた児童生徒同士だけが対話する環境ではなく、ICTを活用することでクラス全員が対話できる環境を用意します。これにより、児童生徒が、より多様な考えから刺激を受け、自らの考えを深めたり、広げたりする機会を作ることを目指しています。具体的な授業の展開方法を「効果的な『対話的な学び』のための授業展開計画」として示していますので、これを参考に授業を計画しましょう。

対話的な学びのための 授業展開

意見の書き込み、吟味、修正

「対話的で深い学び」を実現するために「効果的な『対話的な学び』のための授業展開計画」を元に具体的な授業の進め方を解説します。

授業の計画を立てよう

まずは、授業の流れを確認し、実践するための計画を立てます。5ページに掲載した「効果的な『対話的な学び』のための授業展開計画」に授業の目標などを記入し、赤色の文字のところをその授業に適した表現に修正するだけで、授業計画は完成です。本書では、小学4年生の国語の授業を想定して、授業の流れを解説します。

- ・学年：小学校4年生
- ・教科：国語
- ・単元：「ごんぎつね」
- ・本時目標：指定した場面を読み、ごんの行動や気持ちの変化を想像しよう
- ・ICT活用の目的：友だちとの意見の共有ややりとりを通して自分の意見を深めたり変えたりすることができる。

● 授業の流れ



HINT!

さまざまな授業で活用できる

本書では国語の授業を例に解説していますが、社会などほかの教科でも同じように授業展開1～6で進めることができます。

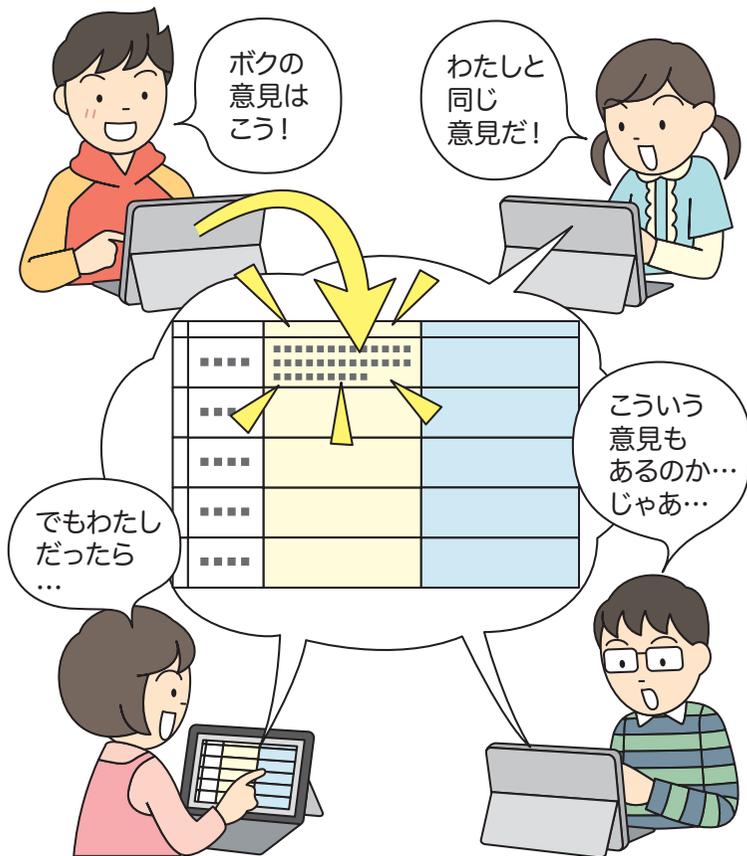
HINT!

意見が分かれる題材の方が 活性化する

本書の方法では、授業の題材（単元）も問いません。しかし、意見が分かれたり、多様化したりする題材の方が、児童生徒が他者から学ぶものが多く、考えを深めたり、広げたりするのに効果的です。

授業で使うツールと使い方

本書で紹介する授業では、ICTツールとしてExcelを利用します。A列に番号、B列に児童生徒の氏名が記入された表を用意し、C列に「初めの考え」、D列に「より良くした自分の考え」欄を用意します。その後、次のページ以降で紹介する流れに沿って、児童生徒がタブレット／パソコンから考えを入力したり、共有された友だちの考えを参照したりします。本書の授業の目的は、「友だちとの意見の共有ややりとりを通して自分の意見を深めたり変えたりすることができる」なので、最終的に、友だちの意見から受けた刺激によって、より良くした自分の意見をD列に記入してもらいます。



HINT!

表の作成方法を 確認しておこう

Excelの表の作成方法については、14～21ページで解説しています。折り返しを設定して長い文章を書きやすくしたり、先頭の行を固定し、画面をスクロールしても見やすくなりやすなど、児童生徒が使いやすい表を用意しておくことが重要です。

HINT!

ホワイトボードでも授業が できる

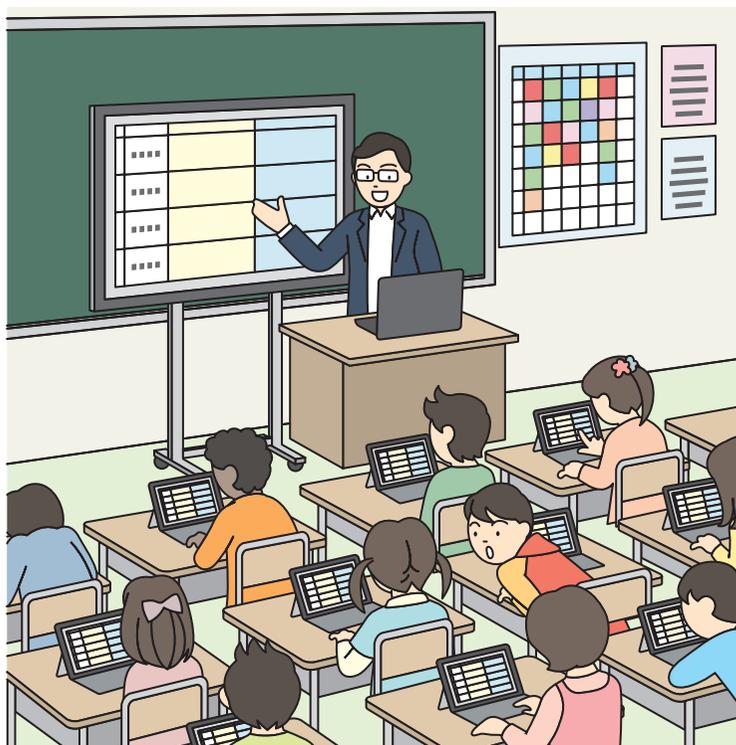
同様の授業は、Excelだけでなく、ホワイトボードを利用して進めることもできます。ホワイトボードの場合は、「メモ（付箋）」を利用して児童生徒の意見を共有しましょう。

展開1 課題

始めに、番号と氏名のみを記載したExcelの表をTeamsで児童生徒と共有し、Excelの表を開くよう指示します。また、本時の課題に児童生徒が取り組むことができるよう、授業の導入を行います。

- ・活動：本時の課題を理解する
- ・指示：「ごんの気持ちがどのように変化したのかに注意しながら、2の場面を読んでみましょう。Excelの表に皆さんの考えを書いてもらいます。」

番号	氏名	初めの自分の考え
1	市村 和也	
2	大島 真理	
3	岡 正平	
4	小黒 舞子	
5	春日井 龍之介	
6	加藤 夕	
7	古賀 弘樹	
8	坂本 秋	
9	杉山 真治	
10	十屋 直美	



HINT!

事前の準備は、 名簿ファイルだけ

この授業を実施するために必要なことは、名簿ファイルを用意しておくことぐらいです。慣れてくると、授業を開始してからでも、ここで活用するExcelファイルは容易に準備できるほどです。

もちろん、児童生徒に提示する課題については、多様な考え方を引き出せるよう、十分な吟味が必要です。

HINT!

どのようなタイミングで 実施すればいいの？

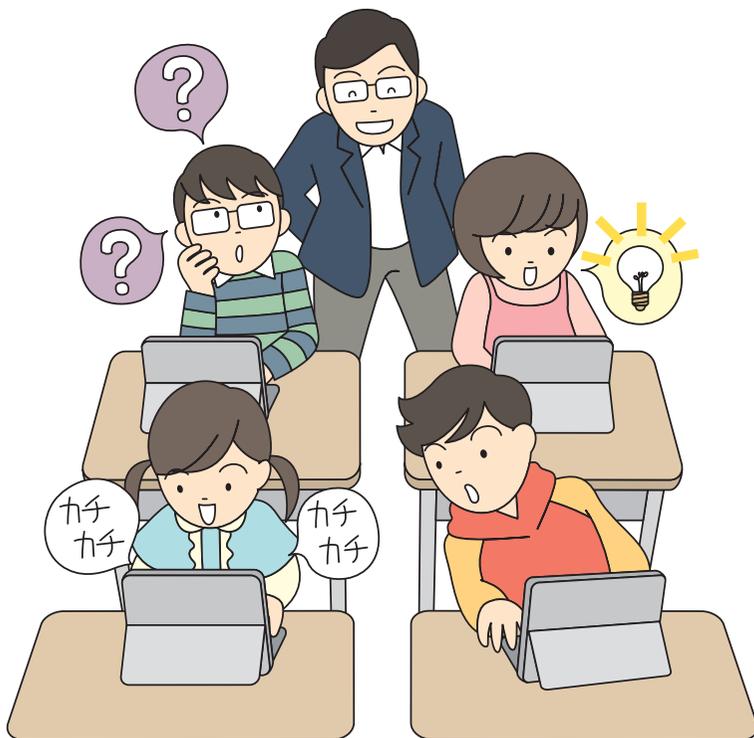
本書で紹介する授業は、どのようなタイミングで実施しても構いません。初めての単元の開始時、単元の途中、単元の終わりなど、タイミングは問いません。ただし、正解が一律には決まらない課題がこの指導方法には適していると言えるでしょう。

展開2 課題に対して自分の考えを書く

続いて、具体的な活動を指示します。課題を説明し、Excelの表の「初めの自分の考え」の欄に、課題についての自分の考えを書きこんでみましょう。

- ・活動：自分の考えを表現する
- ・指示：「ごんぎつねの2の場面で、ごんの気持ちはどのように変化しましたか？今の自分の考えを書いてみましょう。」

	A	B	C	D
1	番号	氏名	初めの自分の考え	
2	1	市村 和也		
3	2	大島 真理	秋なので、秋祭り	
4	3	岡 正平	ごんは軽い気持ちでいたずらしたけど兵十のお母さんが死んじゃったとき兵十に申し訳ないなと思って反省した。	
5	4	小黒 舞子		
6	5	春日井 龍之介	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。	
7	6	加藤 夕	ゴンはいたずらが楽しかったが、兵十のお母が亡くなってしまったのがっかりしている。	
8	7	古賀 弘樹		
	8	坂本 秋		



HINT!

話しすぎないように注意しよう

先生は、児童生徒の作業中は、課題についてあまり多くの情報を提示しないように注意しましょう。記入例などを話しすぎてしまうと、児童生徒の考えに影響を与え、意見が偏ってしまう場合があります。

HINT!

児童生徒の書き込みが終わったら

書き込みが終わった児童生徒には、友だちの考えを見るように指示します。

2

意見の書き込み、吟味、修正

次のページに続く

展開3 友だちの考えを吟味する

Excelの表に書き込まれた児童生徒の考えは、クラス全員で共有されています。全員の意見を見るように指示し、いろいろな考えがあり、自分と何が同じで何が違うのかを見てもらいましょう。

- ・活動：自分と同じ考え方は誰か、何通りぐらいの考え方があるかなどを考えながら、多様な考えに出会い、自分の考えを振り返る
- ・指示：「友だちの考えを、じっくり読んでみましょう。全員のを見てくださいね。」

番号	氏名	初めの自分の考え
1	市村 和也	自分のいたずらを後悔している。
2	大島 真理	秋なので、秋祭りだと思ったんだけど（楽しみだな～）兵十のお母さんのお葬式と知り少し焦ってゴンが食べてウナギを食べた事を後悔したので反省してる。
3	岡 正平	ごんは軽い気持ちでいたずらしたけど兵十のお母さんが死んじゃったとき兵十に申し訳ないなと思って反省した。
4	小黑 舞子	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔していたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。
5	春日井 龍之介	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔していたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。
6	加藤 夕	ゴンはいたずらが楽しかったが、兵十のお母が亡くなってしまったのがっかりしている。



HINT!

十分な時間を確保しよう

友だちの考えを吟味する時間は十分に確保しましょう。全員が読み終わるまで時間を確保しないと、児童生徒が多様な考えに触れることができません。

HINT!

先生自身も全員の考えを読もう

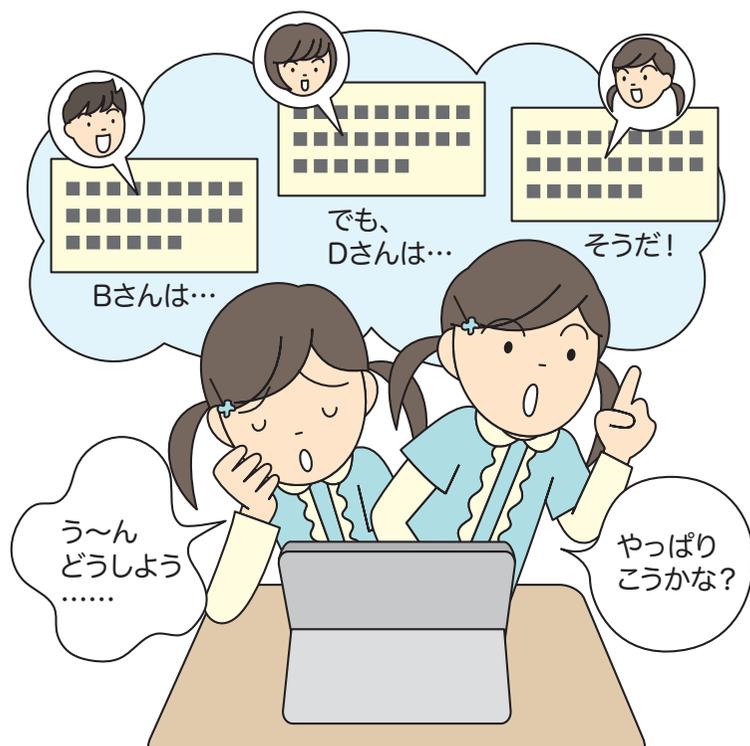
児童生徒に全員の考えを読むように伝えることが大切ですが、先生自身も児童生徒全員の考えをしっかりと読むようにしましょう。重要な意見を見逃したり、児童生徒の考えの変化に気付けなかったりする可能性があります。

展開5 友だちの考えを知って、自分の考えをより良いものにする

Excel上の隣の列に「より良くした自分の考え」の欄を用意し、友だちの考えに触れた後の自分の考えを記入してもらいます。多様な他者の考えを吟味することを通して、自分の考えをより深いものへと発展させます。

- ・活動：自分の考えを変えたり、分かりやすくしたり、新たなものにしたり、強固にしたりする
- ・指示：「友だちの考えを読んで、何か気付いたことはありましたか。友だちの考えも参考にして、自分の考えや表現をより良いものに改善しましょう。」

番号	氏名	初めの自分の考え	より良くした自分の考え
1	市村 和也	自分のいたずらを後悔している。	お祭りだと思っていただけで兵十のお母さんのお葬式だと知って自分のしたいたずらを後悔している。
2	大島 真理	秋なので、秋祭りだと思ったんだけど(楽しみだな〜) 兵十のお母さんのお葬式と知り少し無くてゴンが食べてウナギを食べた事を後悔したので反省している。	厳初
3	岡 正平	ごんは軽い気持ちでいたはずだけど兵十のお母さんが死んじゃったとき兵十に申し訳ないなと思って反省した。	ごんは秋祭りかと思っていただけで兵十のお母さん死んでしまったのを知ってあのいたずらがなかったら
4	小黒 舞子	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。	
5	春日井 龍之介	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。	
6	加藤 夕	ゴンはいざずらが楽しかったが、兵十のお母が亡くなってしまったのがっかりしている。	ゴンはあんないざずらをなぜしたのだろうと、後悔しているし、がっかりしている



HINT!

考えが変わらないこともある

児童生徒の考えは、必ず変わるとは限りません。友だちの考えに触れることによって、自分の考えが一層強くなることもあります。その場合には、多くの人に理解されやすいように表現を工夫するなど、より良いものに改善します。

HINT!

誰の影響を受けたかを書く

「より良くした自分の考え」の欄には、誰の影響を受けたのかも書くように伝えるといいでしょう。これは、引用時の出典を明記することに当たります。

HINT!

表現の変化や伝える工夫に着目しよう

児童生徒によっては、友だちの意見を参考に自分の表現を変えたり、友だちに自分の意見が伝わりやすくするために伝える工夫をしたりする場合があります。考えの内容だけでなく、こうした表現の変化にも注目して授業を進めましょう。

次のページに続く

展開6 より良く修正された考えを友だちと共有する

友だちが記入した「より良くした自分の考え」の欄を見てもらいましょう。その後、自分の考えや友だちの考えがどう変わったか、誰の考えに感心したのかなどを発表してもらいましょう。

- ・活動：考えの変化を共有する
- ・指示：「友だちの考えがどう改善されたか、じっくり見てみましょう」

番号	氏名	初めの自分の考え	より良くした自分の考え
1	市村 和也	自分のいたずらを後悔している。	お祭りだと思っていたけど兵十のお母さんのお葬式だと知って自分のいたずらを後悔している。
2	大島 真理	秋なので、秋祭りだと思ったんだけど（楽しみだな〜）兵十のお母さんのお葬式と知り少し無くてゴンが食べてウナギを食べた事を後悔したので反省している。	最初の方は、お祭りだと思っていたが、そんなに騒いでなかったのを見に行くと、兵十のお母さんが死んだに気づき自分の事振り返りをしたら兵十が釣ったウナギを食べたのに気づいて結構反省している。後悔もしている！
3	岡 正平	ごんは軽い気持ちでいたはずだけど兵十のお母さんが死んじゃったとき兵十に申し訳ないと思って反省した。	ごんは秋祭りかと思っていたはずだろうと思っていたけどお葬式で兵十のお母さん死んだのを知ってあのいたずらがなかったらお母さんにウナギを食べさせたかもしれないからと反省しているのですね！
4	小黒 舞子	兵十のお母さんが死んだときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。	最初は秋祭りだと思っていて、楽しい気持ちになっていたけれど、葬式だと気づいて、誰の葬式かになり、兵十のお母さんと気づくと、自分のせいで兵十のお母さんが最後に食べたかったウナギを食べさせてあげられなくて、後悔している。

HINT!

他者へのリスペクトが生まれ
自己肯定感が向上する

友だちの考えの変化を見ると、自分が影響を及ぼしていたことが分かったり、普段では気付いていなかった友だちの良さが見えてきたりします。この活動は、他者への尊敬の念を高め、自己肯定感を向上させることにもつながります。また、多様な他者の考えに触れることで新たな価値が創造できるということにも気付くことでしょう。



HINT!

いわゆる「まとめ」は不要

授業の最後に先生は、まとめを板書したくなるものですが、より良くした自分の考えをよく読んでみると、ほとんどの児童生徒が自分の言葉で「まとめ」に匹敵する表現をしていることに気付かれることでしょう。先生も、全員のより良くした自分の考えを読んでください。



テクニック 授業時間に余裕がある場合は「展開4」の実施も検討しよう

授業時間に余裕がある場合は、本書で省略した「展開4 友だちの考えに対して質問や意見を書く」を実施することも検討しましょう。「初めの自分の考え」の右側に「感想・質問・意見」といった列を追加し、展開3で友だちの考えを見てもらった後に、気になる友だちの意見について表に記入してもらいます。感想や質問、意見により、より考えを深めることができます。

友だちへの質問を書き込める列を用意する

1	A	B	C	D
1	番号	氏名	初めの自分の考え	感想・質問・意見
2	1	市村 和也	自分のいたずらを後悔している。	
3	2	大島 真理	秋なので、秋祭りだと思ったんだけど(楽しみだな～) 兵十のお母さんのお葬式と知り少し無くてゴンが食べてウナギを食べた事を後悔したので反省している。	
4	3	岡 正平	ごんは軽い気持ちでいたはずだけど兵十のお母さんが死んだとき兵十に申し訳ないなと思って反省した。	
5	4	小黒 舞子	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。	
6	5	春日井 龍之介	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。	
6	6	加藤 夕	ゴンはいたずらが楽しかったが、兵十のお母が亡くなってしまったのがっかりしている。	



HINT!

グループワークで意見を深めるのも効果的

友だちの考えについての議論を深めるには、グループワークも効果的です。小規模なグループで意見を交わしてから、全体で発表するなど授業を工夫してみましょう。

HINT!

考えの整理や分類にはホワイトボードも効果的

同じような考えをまとめたり、考えを分類して、その関係を整理したりしたいときは、レッスン③以降で解説しているホワイトボードを活用するのも効果的です。さまざまなツールを活用してみましょう。

Point

「対話」の機会をICTで創出する

ここで紹介した例に沿って授業を進めることで、クラス全員、すべての児童生徒の考えを吟味し、さらに自分の考えを深めることができる「対話的で深い学び」を実践することができます。扱いやすいExcelの表を使ったシンプルなツールで実現できるため、児童生徒の年齢を問わず、しかも先生の負担になる事前の準備もほとんどなく、授業を展開できます。実際の教室で活用してみましょう。

TeamsでExcelやホワイトボードを使うには

Excelファイルの作成と共有

授業で利用するExcelの表をTeams上に用意しましょう。ここでは、Teamsの基本的な使い方と、児童生徒が入力する表の作り方を紹介します。

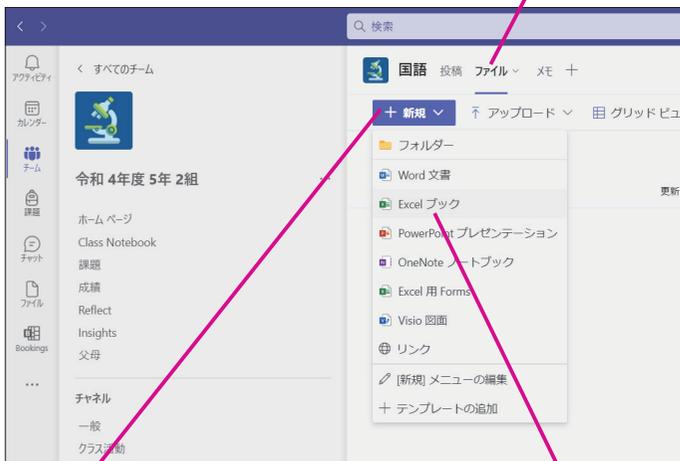
1 ファイルの作成画面を表示する

Teamsのアプリを起動し、クラスのチームを表示しておく

授業のチャンネルを表示しておく

ここでは[国語]のチャンネルを開く

1 [ファイル]タブをクリック



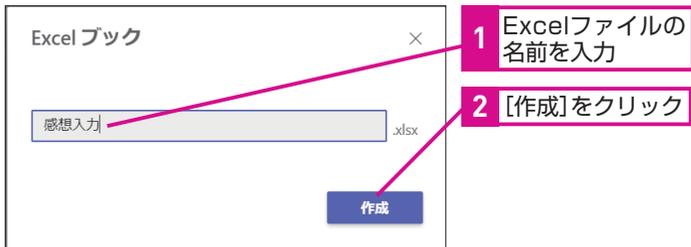
2 [新規]をクリック

3 [Excelブック]をクリック

2 ファイル名を入力する

Excelファイルの作成画面が表示された

ここでは「感想入力」という名前を付ける



1 Excelファイルの名前を入力

2 [作成]をクリック

HINT!

作成済みの表を使いたいときは

すでにExcelで表を作成済みのときは、手順1の画面で [アップロード] を選択して、パソコン上のExcelファイルを登録することもできます。

HINT!

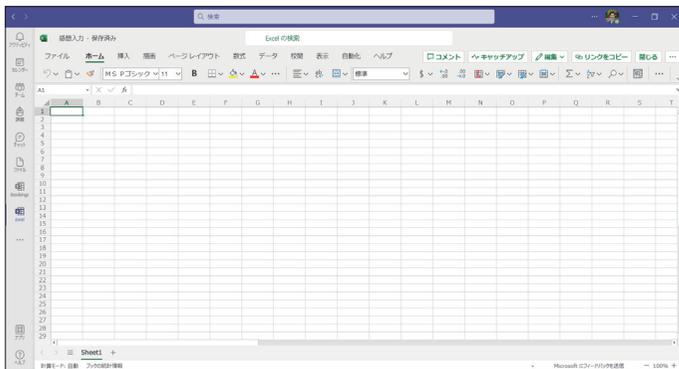
作成したExcelファイルはどこに保存されるの？

作成したExcelファイルは、クラウド上に安全に保存されます。インターネットに接続されていれば、先生も児童生徒も、いつでもTeamsアプリやブラウザから参照できます。もちろん、アクセスできるのは基本的にチームのメンバーのみに限られているので安心して利用できます。

3 Excelの画面が表示された

Excelファイルが作成され、Teamsの画面内にExcelのワークシートが表示された

画面に表示されたメニューや項目名は、更新によって変更される場合がある

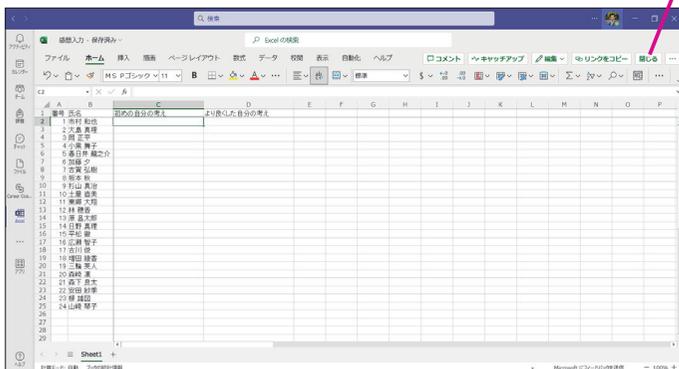


4 児童生徒に共有する表を作成する

セルに文字を入力して表を作成する

ここでは16ページで紹介する内容で、児童生徒の名前のほか、児童生徒が感想や意見を書き込める表を作成する

1 [閉じる]をクリック



HINT!

Teams上でExcelが使える

手順3の画面は、Teamsアプリ内で動作しているExcelとなります。このため、インターネットにさえ接続されていれば、パソコンにExcelがインストールされていなくても機能を利用できます。基本的な使い方は通常のExcelと同じですが、マクロが使えないなどの制限があります。

HINT!

自動的に保存される

作成したExcelの表は、自動的に保存されます。このため、保存操作は必要ありません。手順4でExcelの画面を閉じてしまっても、再びファイルを開けば、以前に作成した内容が自動的に読み込まれます。

HINT!

児童生徒と共有される

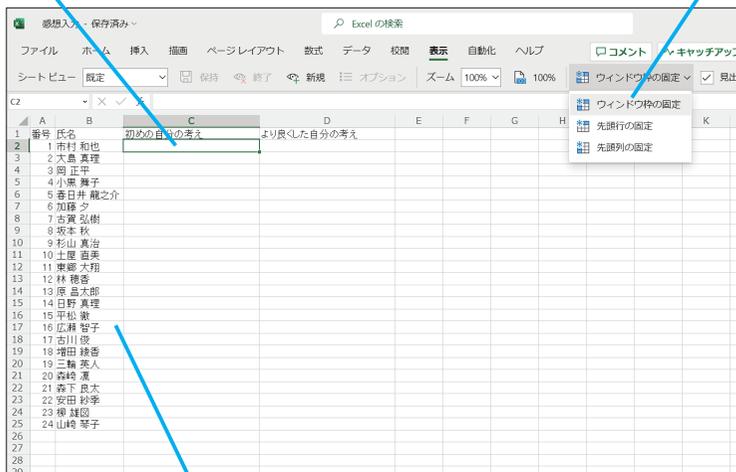
Teams上に作成したExcelは、児童生徒とも共有されています。また、Excelは共同編集に対応していますので、複数のユーザーで同時に表を開いて、一緒に作業することができます。

次のページに続く

表全体の書式設定

見出しや名前が常に表示されるように、セルC2でウィンドウ枠を固定する

[表示]タブの[ウィンドウ枠の固定]で見出しを固定できる

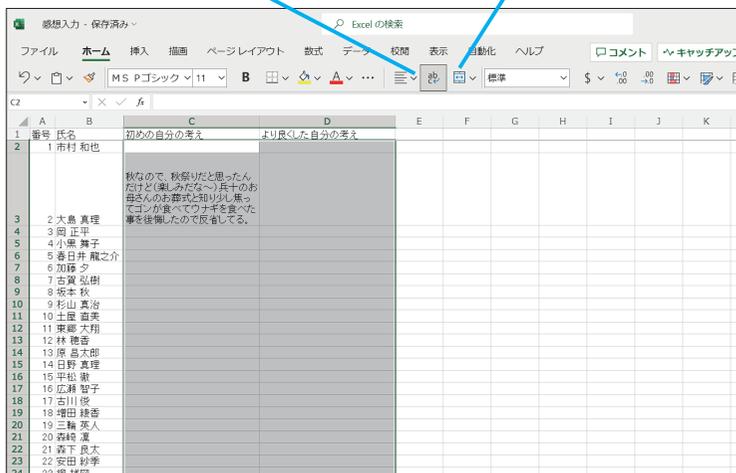


番号や名簿のファイルを用意して、データをコピーしておく

セルの書式設定

[配置]の[上揃え]をクリックすると、セルの左上から文字を入力できる

[折り返す]をクリックして、セル内で文字が折り返されるようにする



HINT!

児童生徒が入力することを想定して表を作ろう

ここで作成する表は、実際に児童生徒が開いて、自分の考えを入力するための表となります。画面をスクロールしても見出しが見えるようにウィンドウ枠を固定したり、複数行を入力できるように折り返しを設定したり、フォントサイズを児童生徒が使うタブレット/パソコンの画面に合わせて調整したりと、実際の授業で使うことを想定して作成しましょう。

● おすすめの設定

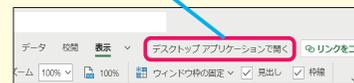
- ・児童生徒の名前を大きくする
([フォントサイズ]の数値を大きく)
- ・セルの高さの変更
(行番号の境界線を下にドラッグ)
- ・名前の上下中央揃え
([配置] - [上下中央揃え]をクリック)
- ・表示サイズの拡大
(画面右下の[拡大]をクリック)

HINT!

Excelアプリで開くこともできる

画面上部の[デスクトップアプリケーションで開く]をクリックすると、パソコンにインストールされているExcelアプリを使って表を編集できます。もちろん、作成した表はTeams上に自動的に保存されます。

Excelアプリで表を編集するときには、画面右上の[デスクトップアプリケーションで開く]をクリックする





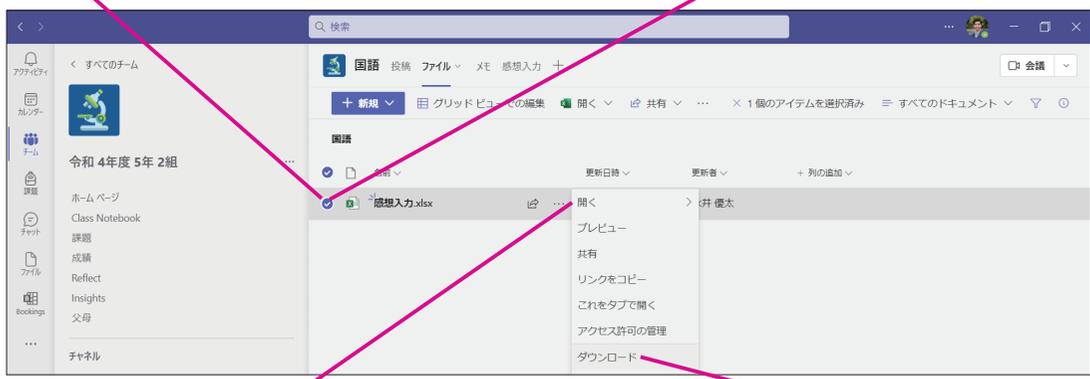
テクニック Teams上のファイルをパソコンにダウンロードするには

Teams上に作成したファイルは、基本的にインターネットに接続されていないと利用できません。もしも、インターネットに接続されていない環境で作業したいときは、以下のようにファイルを右クリックしてダウンロードしましょう。パソコンのExcelを使ってオフ

ラインでも編集できるようになります。ただし、ダウンロードしたファイルはTeams上のExcelとは別のデータとなるため、パソコン上で編集した内容はTeams上のExcelには反映されません。後でTeams上にアップロードする必要があります。

ここでは、共有されているExcelファイルをパソコンにダウンロードする

- 1 アイコンの左にマウスポインターを合わせる
- 2 クリックしてチェックマークを付ける



- 3 チェックマークが付いたファイルを右クリック
- 4 [ダウンロード]をクリック

ダウンロードしたファイルは、[ダウンロード]フォルダーに保存される



テクニック 評価を記入したり並べ替えたりできるようにしよう

本書で解説しているExcelの表を使った授業のメリットは、授業で使った表を評価や分析などに活用しやすい点にあります。例えば、評価欄を追加して評価を記入したり、表を評価の点数を基準に並べ替えたりできます。ただし、Teams上のExcelファイルは児童生徒

と共有していますので、評価などの情報を入力するときは、上のテクニックを参考に必ずパソコンにダウンロードし、共有されていない状態で利用する必要があります。

A	B	C	D	E	F	
1	番号	氏名	初めの自分の考え	より良くした自分の考え	評価	
2	1	市村 和也	自分のいたずらを後悔している。	後悔りだと思っていただけ兵十のお母さんのお葬式だと知って自分のいたずらを後悔している。		
3	2	大島 真理	秋なので、秋祭りだと思ったんだけど(涙しみだな〜) 兵十のお母さんのお葬式と知り少し焦ってゴンが食べてウナギを食べた事を後悔したので反省してる。	最初のゴンは、祭りだと思っていたが、そんなに騒いでなかったの思に行くくと、兵十のお母が死んだのに気づき自分の事振り返りしつら兵十が釣ったウナギを食べたのに気づいて結構反省している。後悔もしている！		
4	3	岡 正平	ごんは軽い気持ちでいたはずだけど兵十のお母さんが死んじゃったとき兵十に申し訳ないなと思って反省した。	ごんは秋祭りかと思っていただけ兵十のお母さん死んでしまったのを知ってあのいたずらがなかったらお母さんにウナギを食べさせたかもしれないからと反省しているのて人思いなところもある。		
5	4	小黒 舞子	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いぬえよはあ	最初は秋祭りかと思っていて、楽しい気持ちになっていたけれど、葬式と気づいて、墓の葬式が気になり、兵十のお母さんとおまへさん、自分のいたずらのお母		

評価を記入するための列を用意すれば、入力した評価の内容で並べ替えができる

適切に並べ替えができるよう、評価の基準を段階ごとに決めて、同じルールで評価を入力する

次のページに続く

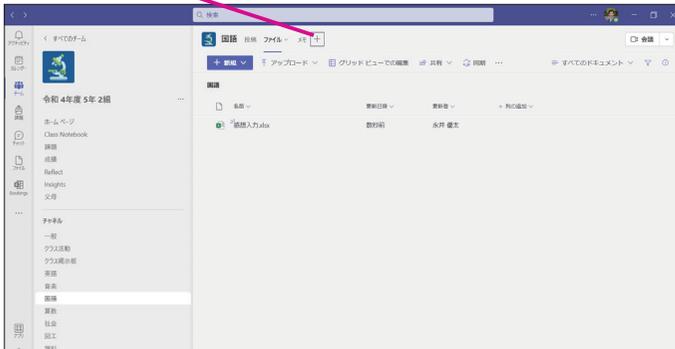
表を簡単に表示するためのタブを追加する

1 タブの追加画面を見る

Teamsのアプリを起動し、クラスのチームを表示しておく

タブを追加する授業のチャンネルを表示しておく

1 [タブを追加]をクリック



2 アプリのタブを追加する

[タブを追加]の画面が表示された

ここではExcelのタブを追加する

1 [Excel]をクリック



3 チームを選択する

[クイックアクセス]に学校内のチームの一覧が表示された

ここでは5年2組のチームを選択する

1 クラスのチームをクリック



HINT!

全員にタブが表示される

追加したタブは、先生のTeamsだけでなく、児童生徒全員のTeamsにも表示されます。児童生徒ごとに画面が異なることがないので、共通の画面や操作で授業ができます。

HINT!

いろいろなアプリがある

Teamsでは、ここで紹介したExcelだけでなく、さまざまなアプリをタブとして追加できます。例えば、授業の参考になるWebページをタブとして追加したり、Formsを使ったアンケートのタブを追加して授業の評価を入力してもらったりすることができます。

4 タブに表示するファイルを選択する

Teamsで共有されているファイルの一覧が表示された

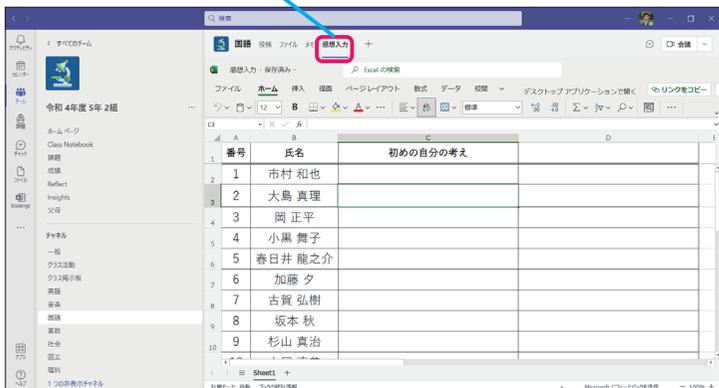
1 [感想入力.xlsx] をクリックしてチェックマークを付ける



2 [保存] をクリック

5 追加したタブが表示された

[感想入力] というタブが表示された



[感想入力] タブのクリックをクリックして、共有しているファイルをすぐに開ける

HINT!

どれも同じExcelの表

タブとして追加されるExcelの表は、14ページで [ファイル] に追加したファイルと同じものです。[ファイル] や [タブ] と、アクセスできる場所が異なりますが、どちらも元となるファイルは同じです。

HINT!

メッセージが投稿される

標準では、手順4の画面の下にある [このタブについてのチャンネルに投稿します] にチェックマークが付いているため、新しいタブを作成すると、そのことを伝えるメッセージが自動的に投稿されます。このため、児童生徒も新しいタブが追加されたことを見逃しにくくなります。

HINT!

タブを削除するには

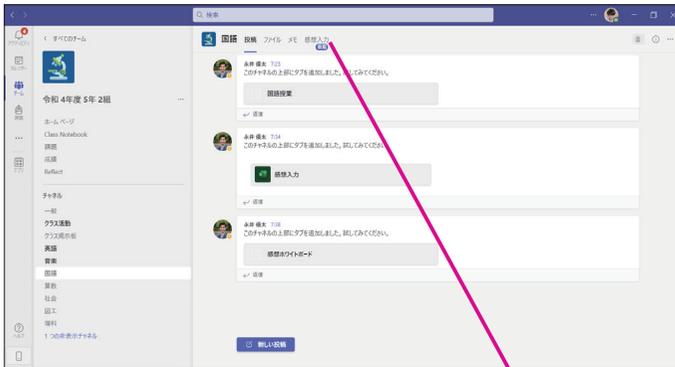
タブを削除したいときは、タブを右クリックして [削除] を選択します。また、[名前の変更] でタブの名前を変えることもできます。

児童生徒がExcelファイルを開く

1 先生からの投稿を見る

ここでは、児童生徒がクラスのチームから国語の授業のチャンネルに参加する例を紹介する

タブの追加に関する、先生からの投稿が表示された

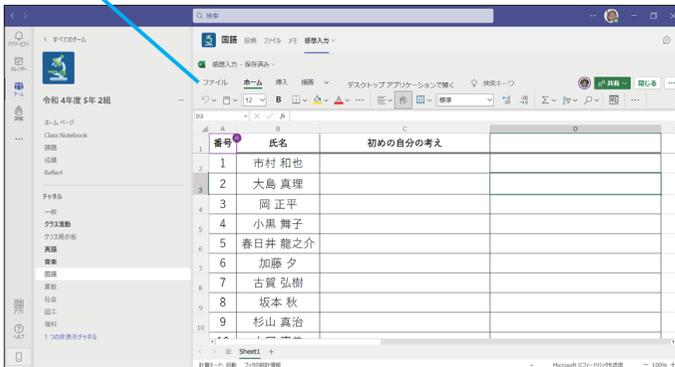


画面の上部に「新規」と表示された「感想入力」タブを開く

1 「感想入力」タブをクリック

2 Excelの画面が表示された

児童生徒のTeamsの画面にExcelのワークシートが表示された



画面に表示されたメニューや項目名は、更新によって変更される場合がある

HINT!

投稿からもファイルを開ける

19ページのHINT!で解説したように、標準では新しいタブに関するメッセージが自動的に投稿されます。このため、児童生徒は投稿されたメッセージからExcelを開くこともできます。どちらの方法でも開くファイルは同じです。

HINT!

ほかの人の編集状況が見える

Excelでは、同時にファイルを編集している人の状況がリアルタイムで視覚化されます。ほかの人が選択しているセルは別の色の枠で表示され、マウスポインターを合わせると編集している人の名前が表示されます。このため、先生が選択しているセルは、児童生徒にも分かります。授業をするときは、児童生徒が先生の存在を過度に意識しないように、先生が編集中のセルをあまり選択しないようにすることも大切です。

Point

Teamsで簡単に共同作業ができる

Teamsを利用すると、先生と児童生徒が共有するデータを簡単に用意できます。どこにファイルを保存するか？ どうやって共有するか？ 安全性はどうやって確保するか？ といった心配をすることはありません。単にExcelを作成したり、タブとして追加したりするだけで、すぐに授業に活用できます。ホワイトボードやほかのアプリも同様に簡単に共有できるので、授業に活用してみましょう。



テクニック ホワイトボードも活用しよう

「対話的で深い学び」を実践するためのツールには、Excelだけでなく、ホワイトボードもあります。付せんのような「メモ」を自由に貼り付けたり、手書きでコメントや図を書き込んだりすることもできるので、同様に児童生徒の「考え」を書き込んで共有することができます。

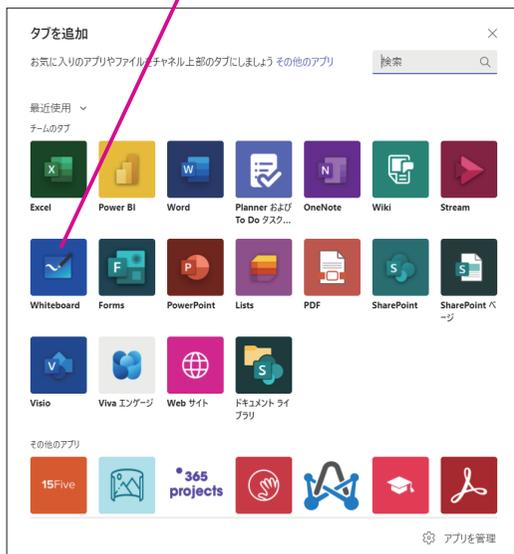
書き込んだメモを自由に動かすことができるので、意見を整理したり、グループ分けしたりしたいときは、ホワイトボードの利用も検討してみましょう。ホワイトボードも、以下のようにタブとして追加することで簡単に準備し、児童生徒と共有できます。

1 アプリのタブを追加する

18ページの手順1を参考に、タブの追加画面を表示しておく

ここでは、児童生徒が感想や意見を書き込むホワイトボードのタブを追加する

1 [Whiteboard] をクリック



2 ホワイトボードの名前を設定する

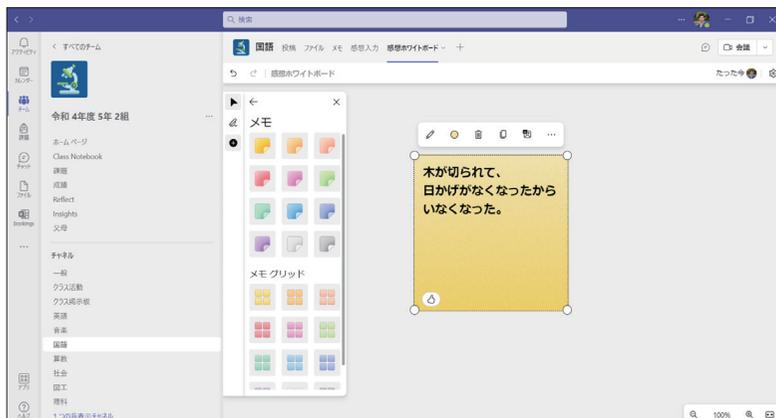
ホワイトボードの名前を入力する

1 ホワイトボード名を入力



2 [保存] をクリック

3 追加したタブが表示された



「感想ホワイトボード」というタブが表示された

「感想ホワイトボード」タブをクリックして、共有しているファイルをすぐに開ける

メモを貼り付けたり、ペンで文字を書き込んだりすることができる

対話的な授業の実践例を見てみよう

授業の実践例

「効果的な『対話的な学び』のための授業展開計画」に沿って実施された授業の事例を見てみましょう。実際に先生や児童生徒がどのように考えたのかを紹介します。

渋谷区立千駄谷小学校

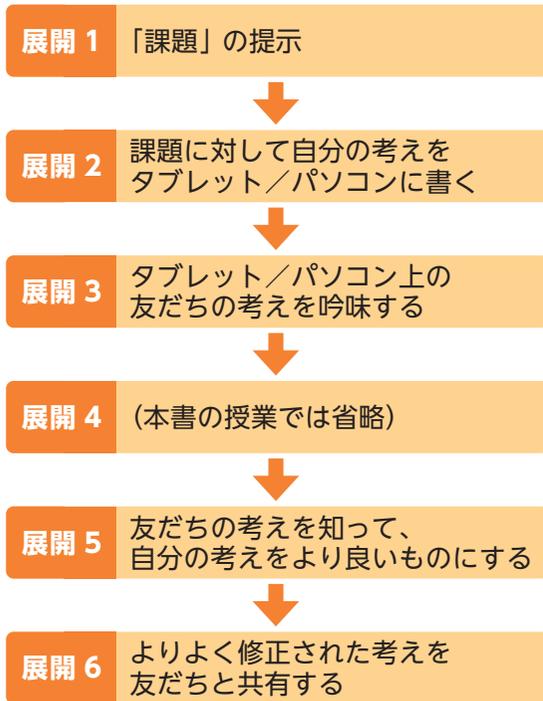
学年：4年 教科：国語 「ごんぎつね」

渋谷区立千駄谷小学校では、国語の授業で「効果的な『対話的な学び』のための学習計画」に沿った授業が実施されました。単元は「ごんぎつね」です。

授業の計画

レッスン②で紹介した授業の流れ（展開1～6）のための授業設計シート「効果的な『対話的な学び』のための授業展開計画」を活用して、この授業は計画されました。

● 授業の流れ



効果的な「対話的な学び」のための授業展開計画 v.2.0

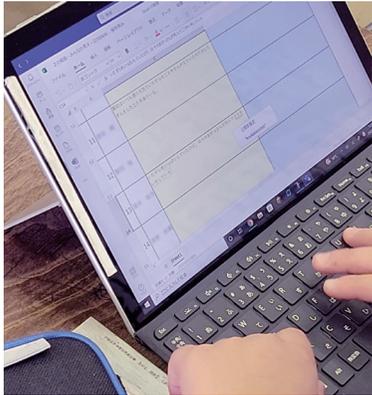
渋谷区立千駄谷小学校、授業者：鍋谷正尉		
学年・クラス	教科	単元
4年1組	国語	ごんぎつね
本時の目標 (教科などの目標)	2の場面を読み、ごんの行動や気持ちの変化を想像しよう。	
ICT活用の目的	友だちとの意見の共有ややりとりを通して自分の意見を深めたり変えたりすることができる。	

学習活動	指導（指示・発問）	使用ICTツール	時間(分)
展開1 課題			
1の場面で読み取ったごんについて振り返る。 注：「調べる」「まとめる」「まとめる」や答えが一律に決まっている課題は通していません。			05
展開2 課題に対して自分の考えをタブレット／パソコンに書く			
「2の場面で、ごんの行動や気持ちがどのように変化したか」について、自分の考えを記入する。	「デジタル教科書で自分の考えを整理して、先生が指示する欄に、自分の考えを入力してください」	・ Teams ・ Excel ・ PowerPoint	15
展開3 タブレット／パソコン上で友だちの考えを吟味する(展開4が同時の場合も可)			
「2の場面でごんの行動や気持ちがどのように変化したか」について、友だちの書いた考えをいろいろ比較する。 ・ 友だちの考えと自分の考えを比べる ・ 気付いたことを全体に発表する	「自分で操作して友だちの考えを見てみましょう」 ★適宜次の指示をする ・ 自分と同じ考えは誰ですか ・ 似ている考えはどれとどれですか ・ 仲間分けをすすと、いくつかのグループになりますか ・ 誰の考えを詳しく聞いてみたいですか 「気付いたことを発表してください」	・ 友だちの考えを見るときに、多くの操作が必要ないよう、できるだけ一つのファイル内でするように、展開2で工夫しておく	10
展開4 友だちの考えに対して質問や意見を書く(省略可)			
(今回は省略)			00
展開5 友だちの考えを知って、自分の考えをより良いものにする			
「2の場面でごんの行動や気持ちがどのように変化したか」について、友だちの考えやコメントを見て、自分の考えをより良いものにする。	「友だちの考えやコメントを見て、自分の書いたものをより良いものにしましょう。誰の考えに影響されたかの変化の根拠も明記しておきましょう。」 ・ 変更する／分りやすくする／新たなものにする／強調にする ・ 変化の根拠（誰の考えに触発されたか） 「どのように変わりましたか。発表してください」	・ 最初の記述は残し、修正した考えは別の領域に入力して、比較できるようにする	10
展開6 よりよく修正された考えを友だちと共有する			
「2の場面でごんの行動や気持ちがどのように変化したか」について友だちの今の考えと、その変化の根拠を知る。	「友だちのより良くなった考えと、変化の根拠を見てみましょう。」 「誰の学びに感心しましたか?」		05

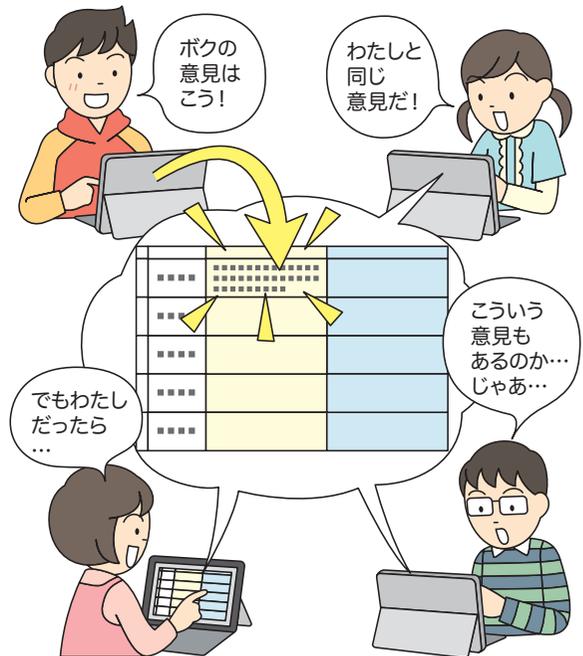
学習活動②、③(必要によって、①と類似の展開が繰り返される)

授業の実施

前ページの授業展開計画に沿って、授業は展開されました。展開3の「Excel上の友だちの考えを吟味する時間」や展開5の「友だちの考えを知って自分の考えをより良いものにするために必要な時間」が十分確保された授業展開となった点が、従来の授業と大きく異なる点です。



教科書を読んで、初めの自分の考えを入力している児童生徒



友だちの考えを吟味し、自分の考えをより良いものへ修正していく様子が見られた

- ・ほかの友だちの考えを参考にして自分の考えを変えていくという流れは、とても参加しやすかったです。
- ・より良い考えを書くときには、みんなの考えをもらったりして、考えやすかったです。
- ・初めの考えとその後のより良い考えの欄が分かれているから、区別して考えを整理しやすかったです。
- ・ノートで書いて渡し合うより、自分のパソコンですぐに見ることができるので、何度でも見ることができるのがよかったです。
- ・みんなが書いてるのをサッと見られるので、自分の考えを書くときに取り入れやすかったです。



授業に参加した児童生徒

教員の指示や誘導による学習展開ではなく、児童個人や集団による学習の深化が図られる展開だと感じました。活動の様子を見てみると、児童はみんなが高め合いたいという気持ちを持っているのだということが改めて感じられ、学習指導の基本に立ち返るような思いでした。



渋谷区立千駄谷小学校 主幹教諭 鍋谷正尉

次のページに続く

授業での指示と児童生徒の書き込み

実際に授業で先生がどのような指示をして、児童生徒が自分の考えをどのように表現したのかを見てみましょう。

展開 2 課題に対して自分の考えを
タブレット／パソコンに書く



展開 3 タブレット／パソコン上の
友だちの考えを吟味する



氏名	初めの自分の考え	より良くした自分の考え
A	自分のいたずらを後悔している。	
B	秋なので、秋祭りだと思ったんだけど（楽しみだな〜） 兵十のお母さんのお葬式と知り少し焦ってゴンが食べてウナギを食べた事を後悔したので反省してる。	
C	ごんは軽い気持ちでいたずらしたけど兵十のお母さんが死んじゃったとき兵十に申し訳ないなと思って反省した。	
D	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。	



展開 5 友だちの考えを知って、
自分の考えをより良いものにする

氏名	初めの自分の考え	より良くした自分の考え
A	自分のいたずらを後悔している。	お祭りだと思っていたけど兵十のお母さんのお葬式だと知って自分のしたいたずらを後悔している。
B	秋なので、秋祭りだと思ったんだけど（楽しみだな〜） 兵十のお母さんのお葬式と知り少し焦ってゴンが食べてウナギを食べた事を後悔したので反省してる。	最初のゴンは、祭りだと思っていたが、そんなに騒いでなかったのを見に行くと、兵十のお母が死んだのに気づき自分の事振り返りをしたら兵十が釣ったウナギを食べたのに気づいて結構反省している。後悔もしている！
C	ごんは軽い気持ちでいたずらしたけど兵十のお母さんが死んじゃったとき兵十に申し訳ないなと思って反省した。	ごんは秋祭りかと思っていたはずしようと思っていたけどお葬式で兵十のお母さん死んでしまったのを知ってあのいたずらがなかったらお母さんにウナギを食べさせたかもしれないからと反省しているので人思いなところもある。
D	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う相手のことを思いやる心はある。	最初は秋祭りだと思っていて、楽しい気持ちになっていたけれど、葬式だと気づいて、誰の葬式かが気になり、兵十のお母さんだと気づくと、自分のせいで兵十のお母さんが最後に食べたかったうなぎを食べさせあげられなくて、後悔している。



展開 6 よりよく修正された考えを
友だちと共有する

ごんぎつねの2の場面で、ごんの気持ちはどのように変化しましたか？ 今の自分の考えを書いてみましょう。



友だちの考えを、じっくり読んでみましょう。全員の見てくださいね。



友だちの考えを読んで、何か気付いたことはありましたか？友だちの考えも参考に、自分の考えや表現をより良いものに改善しましょう。「ごんの気持ちはどのように変化しましたか？」

授業の結果

児童生徒が、実際にどのように友だちの考えに刺激を受け、自分の考えをどのように変えたのかを見てみましょう。対話的な学びによる効果が表れています。

● 児童生徒Aの変化



「お祭りだと思っていたけど」の文が文頭に追加された。これは、先生からの指示が「ごんの気持ちはどのように変化しましたか？」であったことを、ほかの児童生徒の「秋祭りだと思ったんだけど（楽しみだな～）」などの書き込みを見て思い出したからと考えられる。

氏名	初めの自分の考え	より良くした自分の考え
A	自分のいたずらを後悔している。	お祭りだと思っていたけど兵十のお母さんのお葬式だと知って自分のしたいたずらを後悔している。
B	秋なので、秋祭りだと思ったんだけど（楽しみだな～） 兵十のお母さんのお葬式と知り少し焦ってゴンがウナギを食べた事を後悔したので反省してる。	最初のゴンは、祭りだと思っていたが、そんなに騒いでなかったのを見に行くと、兵十のお母さんが死んだのに気づき自分の事振り返りをしたら兵十が釣ったウナギを食べたのに気づいて結構反省している。後悔もしている！
C	ごんは軽い気持ちでいたずらしたけど兵十のお母さんが死んじゃったとき兵十に申し訳ないなと思って反省した。	ごんは秋祭りかと思っていたはずしようと思っていたけどお葬式で兵十のお母さん死んでしまったのを知ってあのいたずらがなかったらお母さんにウナギを食べさせられたかもしれないからと反省しているので人思いなところもある。
	兵十のお母さんが死んでしまったときに後悔をしていたので自分のやってしまったことを反省して悪いと思う	最初は秋祭りだと思っていて、楽しい気持ちになっていたけれど、葬式だと気づいて、誰の葬式かが気に

● 児童生徒Cの変化



「兵十に申し訳ないなと思って反省した」理由を、複数の児童生徒が具体的に記述していることが目に留まり、「あのいたずらがなかったらお母さんにウナギを食べさせられたかもしれないから」の文章が挿入された。

先生の誘導的な発問や説明がなくても、ほかの児童生徒の「初めの自分の考え」のすべての記述をじっくり見る時間を確保した授業展開により、気付かなかった点に気付いたり、根拠を示した表現に変わったりするなど、他者から学ぶことができた

ことが「より良くした自分の考え」の欄の記述から読み取れます。この授業展開により、児童が協働して新たな価値を創造すること、同時に、他者への尊敬の念が芽生えたり、自己肯定感が高まったりすることが期待できます。

次のページに続く

聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校

教科：現代文B「この夏の一行大賞」

聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校では、先生自らの工夫により、現代文Bの授業で普段から対話的な学びにつながる授業が実施されています。この学校が目指す「学び屋さん」を育てる上で重要となる、文章の「推敲」と読書への関心を高めることを意識した「この夏の一行大賞」の授業です。

授業の内容

この事例は、自分の書いた文章を読み返して推敲することにより、質を高めたり、良い表現にしたりすることを目的とした授業です。推敲といっても、いきなり「推敲しましょう」と言うだけでは、生徒が何から始めればいいのか戸惑ってしまいます。この授業では、ほかの人の文章に「つつこみ」を入れる、他者の表現方法を自分の中に取り入れるという2つの活動を行いました。複数の視点を手に入れることで、自らの文章をより俯瞰して見ることができます。

● 授業の準備（「効果的な『対話的な学び』のための学習計画」展開1～2に相当）

夏休みの課題として生徒が本を選び、そこから心に残った「一行」とその理由を記述してもらいました。（新潮社 ワタシの一行大賞 を参考にしました。）



● 他者の視点の活用（「効果的な『対話的な学び』のための学習計画」の展開3～4、6に相当）

夏休み明けの授業で、選んだ「一行」とその理由を書いたプリントを小グループで回し読みします。生徒には、自分以外の方が書いた文章を読んでもらい、「真似したいポイント」（いいところ、という観点）と「自分だったらこう書くな」（もっとよくできるところ、という観点）を記入してもらいました。この活動は、あくまでも「自分の文章表現のスキルを磨くため」の活動だと強調して伝えます。いつもは他者の文章を良くするために読み、そのポイントを相手に伝えますが、今回はあえて、「自分のために」他者の文章を読むんだよ、と話しました。

● つつこみ

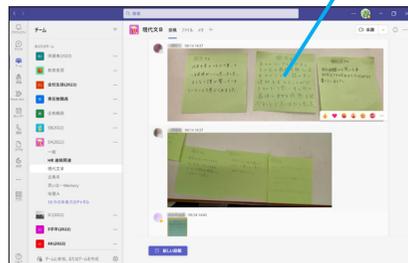
自分の文章を推敲するための視点を得るために、ある文章に対して「つつこみ」を入れてもらいました。生徒への指示は「どこに線を引いて、何とつつこみますか？」と、具体的な作業が分かるような指示を意識しています。そうすることで、教員がない場面でも、自分自身で推敲ができるようになることを目指しています。

全員の考えに触れることができるため、自分では気付きにくい視点や自分にはない観点があることを知ることができる

付箋で書いた各生徒の「真似したいポイント」をクラス全体で共有する

● 推敲（「効果的な『対話的な学び』のための学習計画」の展開5に相当）

あらためて自分の書いた文章と向き合って、推敲してもらいました。今までの活動から、何をどう改善すればいいのかが明確になっている上、多様な意見に触れることで表現なども工夫されました。



対話的な授業作りのポイント

授業内容を考えるとき、ついつい「授業で何をしよう」から考えがちになってしまいます。これだと授業準備に時間がかかって長続きしません。対話的な授業を設計する上では、育てたい生徒像や、生徒にできるようになってほしいことは何かというゴールから設定していくことが大切です。取手聖徳では、先生同士でそれぞれのゴールについて共有する機会をたくさん作っています。そのおかげで教員同士の意思疎通がしやすくなり、他教科との協働が増えることで、授業の質を高め合う相乗効果が生まれます。さらに、自分が困っていることも共有しやすくなるため、授業準備を一人で抱え込まなくてよくなります。

今回の授業を設計する上で気を付けたこと

●活動の意味付けをする

授業や課題は、生徒にとっては教員から与えられるものがほとんどです。しかし、その活動から多くのことを学んでもらうためには、少しでも「自分ごと」としてとらえてもらうことが大切だと考えています。今回の課題では、本を選ぶときの条件として「自分にとって何らかの意味や目的を持つ本」にすることを強調しました。発表の際にもその本を選んだ理由の説明を重要視しています。

●連続性を持った活動

授業や課題は、単発の課題として提示するのではなく、ゴールを意識しながら活動に連続性を持たせるように構成しています。夏休みの課題は特に普段の活動との連続性を持たせることが難しいものです。今回の一連の活動においては、生徒に本を読んでもらう機会を作ることと、本を読んで書いた文章を使って、^{すいこう}推薦のスキルを身に付ける活動につなげることです。

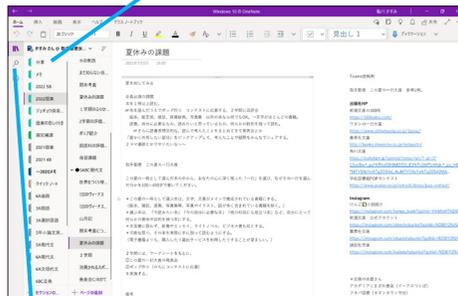
●サイクルを回す

今回の一連の活動では、生徒が課題を自分ごととしてとらえ、本を読み（インプット）、それに関連する成果物を作り（アウトプット）、共有して振り返る、というサイクルを回しました。私たちが目指す「学び屋さん」を育成するために、授業の中でも探究のサイクルを回すことを意識しています。

●授業準備のOneNote

授業の思い付き、プリント、画像、URLを自由に貼ることができる

授業や業務ごとに整理をすることができる



検索を使って今までの情報を瞬時に振り返ることができる

正直なところ、対話的な授業を考えるのはいまだに悩みます。最初は大変かもしれませんが、最初の1学期を乗り越えれば、今では授業準備をしているときや先生同士で授業のことを話している時が一番楽しいです。

聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校
教諭 亀川かすみ



この章のまとめ

身近な Excel で「対話的で深い学び」を展開できる

ICTを活用して「対話的で深い学び」を実践しようと思っても、なかなか具体的な授業として展開できずに困っていませんか？ この章では、こうした悩みに応えるために、身近なExcelを使って、具体的にどのような流れで「対話的で深い学び」のための授業を展開

すればよいのかを解説しました。本書で紹介した方法であれば、ICTツールの使い方を学習する時間を節約できるうえ、無理のない授業展開の中で、児童生徒に「対話的な学び」の効果を経験してもらうことができます。実際の授業でぜひ活用してみましょう。

意見の比較や考察がしやすい

Excelに記入された多様な考えを吟味することで、自分の考えをより良いものへと発展させることができる。



第2章

チームとチャネルを うまく使おう

すでにTeamsを活用している学校・組織の例を見ながら、効果的なTeamsの活用方法を検討してみましょう。主にチームとチャネルの使い分けについて紹介します。

●この章の内容

- ⑤ チームとチャネルを使い分けるには…………… 30
- ⑥ チームとチャネルの構成事例…………… 32

チームとチャンネルを使い分けるには

チームとチャンネルの基本

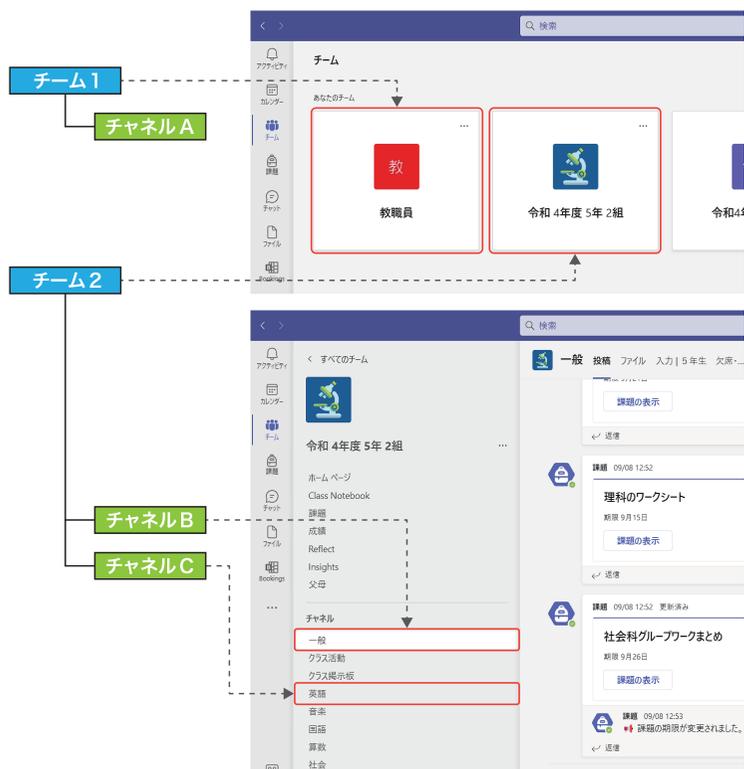
Teamsでは、「チーム」と「チャンネル」という2つの考え方で情報を整理します。チームとチャンネルをどう使い分けなければならないのかを見てみましょう。

チームとチャンネル

Teamsでは、チームの中にチャンネルを作成して情報を階層的に管理することができます。実際の構成は、環境や使い方によって異なりますが、例えば「5年2組」というクラスごとのチームを作成し、その中に「国語」や「算数」などの教科ごとのチャンネルを作成することができます。まずは、チームとチャンネルの関係を理解しておきましょう。

目的ごとに教職員用のチームと児童生徒用のチームを作る

1つのチームには複数のチャンネルを作成できる



HINT!

誰がチームとチャンネルを作るのかを決めよう

チームとチャンネルを作る人は、組織の形態や使い方によって自由に選択できます。ただし、児童生徒にも作れるように設定してしまうと、チャンネルが乱立し、管理しきれなくなる可能性があります。基本的には、チームは組織全体の管理者、チャンネルは先生が作れるようにしておくことでよいでしょう。

HINT!

チャンネルは必要に応じて作成できる

チャンネルは、導入の初期段階から厳密に設計する必要はありません。チャンネルは比較的自由に作れるため、イベントのタイミングで作成するなど、必要になった段階で作成することができます。

チームとチャネルの構成事例

チームとチャネルの構成例

実際の教育現場で、チームとチャネルがどのように構成されているのかを紹介します。構成の理由や運用のコツを参考にしましょう。

大阪市立北鶴橋小学校

「担任と子供たちが使いやすいように任せる」

チームとチャネルの構成

- クラスごとのチーム
- 教職員チーム

チームとチャネルの作成方針：

各クラスごとのチームと教職員チームを作成し、それ以外は必要に応じて作成。

チームの作成が妥当か、チャネル作成の方が妥当かについて相談して作成するようにしています。

運用ルールの工夫

大阪市では、児童生徒たちは投稿を書き込めるが、消せないようになっています。本校では積極的に活用した上で出てきた課題について話し合うようにしています。見守りながら柔軟に課題を見つけるようにしています。

クラスのチームは担任と児童生徒たちが使いやすいように任せています。教材作成、校務分掌のチームはこれまで共用ファイルで行っていたがTeamsの中で作ることで活用しやすくなるようにしました。



大阪市立北鶴橋小学校
校長 光井栄雄

HINT!

授業以外で活用しているチームは？

大阪市立北鶴橋小学校では、授業以外に以下のようなチームを作成して運用しています。教材を作成するための先生向けのチームや学年やクラスの垣根を越えた委員会チームなどは、どの学校でも活用できるので参考にしてみましょう。

- 教材作成チーム
(教科ごとのチャネル)
- 校務分掌チーム
- 委員会チーム

●大阪市立北鶴橋小学校のチーム構成



●大阪市立北鶴橋小学校の教材共有チーム



HINT!

学校だからこそ学べるチャットマナー

大阪市立北鶴橋小学校では、教師が見守り、対応できる環境の中で、児童生徒に思いっきり挑戦してもらっています。マナーを今からしっかり身に付けてほしいという方針です。

東京学芸大学附属小金井小学校

「整理された構成で学校運営を効率化」

チームとチャンネルの構成

- クラスごとの児童生徒チーム（授業ごとにチャンネル）
- PTAやクラスごとの保護者チーム（学校連絡）
- 校務チーム（必要に応じてチャンネル作成）

チームとチャンネルの作成方針：

チームやチャンネルの作成に申請や承認は必要ありません。ただし、チームは情報部の一部教員のみ、チャンネルは教職員が自由に作成可能としています。

学芸大学附属小金井小学校テナント

チーム



チャンネル



チャット



運用ルールの工夫

チームやチャンネルは必要に応じて随時作成しています。ただし、乱立を防止するために児童生徒には作成を許可していません。

投稿は児童生徒間のみのものでやりとりにならないようになっています。



東京学芸大学附属小金井小学校
情報部長 教諭 小池翔太

HINT!

授業以外で活用している
チームは？

東京学芸大学附属小金井小学校では、授業以外に以下のようなチームを作成して運用しています。保護者連絡用やPTA用など保護者向けのチームの活用例も参考になるでしょう。また、教育実習用のような同校ならではのチームも活用されているのが特徴です。

- ・全教職員用（校務全体）
- ・校務分掌用（校務一部）
- ・研究教科部会用
- ・保護者連絡用
- ・PTA用
- ・教育実習用

HINT!

自動化による
さらに高度な活用も

東京学芸大学附属小金井小学校では、Teamsと「Power Automate」という自動化ツールを組み合わせることで、校務の自動化にも取り組んでいます。具体的には、児童・教育実習生の健康観察を管理したり、出欠連絡を自動的に管理する取り組みをしています。

次のページに続く

聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校

「協力しながら生徒の力を伸ばすための構成を採用」

チームとチャンネルの構成

- 全校の生徒チーム
- 学年ごとのチーム
- クラスごとのチーム (教科ごとにチャンネル)
- 教職員チーム
- 保護者チーム
- 外部連携用チーム

チームとチャンネルの作成方針：

教科ごとにチームを作るか検討していましたが、生徒の力を伸ばす上では他教科でどのような教育活動をやっているか分かった方が良いと考えました。教科で閉じずに先生同士の情報共有を円滑にするために、クラスごとのチームを作ることにしました。

運用ルールの工夫と児童生徒の交流

チャンネルは教員が自由に作成できますが、チームはICT担当の限られた教員しか作成できません。これは探究的な学校として、教員も生徒もオープンな場で発言し、対話を重ねていくことを目標としたからです。チームを乱立させずに大きなチームの中でチャンネルを作成することで、お互いの意見や活動が見えるようにしています。一方通行の掲示板にならないように、スレッドをうまく活用することも運用上のポイントです。返信が集まりやすい投稿を心がけるようにしています。全校生徒チームでは、異学年の生徒たちが交流し、さまざまなプロジェクトが生まれています。地域や企業と連携した「ひまわりプロジェクト」では、興味・関心を持った生徒が参加し、広がりを見せました。部活動や委員会チャンネルも全校生徒チームに作ることで、自分の所属していない組織の活動が見え、お互いの良い部分を取り入れられています。

さまざまな先生と生徒が協働する全校生徒チームの活用を意識しています。クラスや学年を越えた学びが自在にできるのが Teams の醍醐味だと思えます。



聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校
教諭 増田瑞綺

HINT!

保護者チームの運用方法

保護者チームでは、学校からの連絡やPTAの活動を行っています。閉じた環境で生徒の写真や動画を共有できるので、保護者だけでなく教員からも好評です。現段階では直接保護者から連絡が来ないように投稿の制限をしています。ただし、保護者向けに問い合わせ用のFormsを用意し、保護者がFormsを送信すると自動で教職員チームの各学年チャンネルに投稿されるようにしました。また、欠席連絡を全教員で共有できるようにFormsの送付内容がTeamsへ投稿される設定にしています。

● 全校生徒チームのチャンネル (抜粋)



HINT!

一人の生徒を複数の教員で見守るための工夫

教職員チームでは分掌・学年・教科別のチャンネルを作り、他部署が何をしているか分かるようにしました。学年チャンネルでは毎日、生徒情報を共有しています。学年チャンネルによって「一人の生徒を複数人の教員で見守る」体制が整い、本校教員内では好評です。去年の学年チャンネルを閲覧できるので、新人の先生から「Teamsを見れば次にやる事が分かる」と言われたこともあります。

岐阜県教育委員会

「学校横断のチームを作成し、
県内の情報連携を整え、面での支援を実現」

チームとチャネルの構成

- 役職のコミュニティ（情報管理担当・ICT推進担当・管理職・図書司書・養護教諭など）
- 研修用
- 部活動顧問会議用
- 職員会議用

チームとチャネルの作成方針：

構成については、特に決まった方針がありません。作成の際は、所属の管理職の許可を得て、各教員が作成します。各学校に1名しかいない役職者を集めたチームを作ること、今まで他校の役職者と個別に電話でやりとりしていた小さな相談事をチーム内で共有し、会話ができるようになりました。

学校横断の活用で、横の情報連携を強化

各学校の情報機器管理の担当者やICT推進の担当者を集めたチームでは、学校の垣根を越えて教員同士で双方向にやりとりして課題を解決する場面も見られ、県の担当だけでなく現場の教員も効率的に業務ができるようになりました。各学校の担当者の負担感軽減や県内全体のICT活用力の底上げにつながっていると実感しています。

教育委員会主導で作成したコミュニティチームの中には、参加メンバーが徐々に増え、数百名規模となった大きなチームもあります。それぞれ自由に書き込みや返信を入れられるようにチャネルを運用し、教育委員会からの一方的な情報共有や回答を行うだけでなく、教員同士で互助的な双方向での情報連携ができています。



岐阜県教育委員会 教育総務課 ICT教育推進室
情報基盤係 管理主事 小澤智也

HINT!

チームの乱立を防ぐ 運用ルールの工夫とは

岐阜県教育委員会では、チームの乱立や教員が存在しないチームの作成を防ぐために、一定のルールを設けています。具体的には、チームの作成は生徒には許可せず教員のみが可能にし、さらに作成時に管理者の許可を得るようにしています。また、チーム名を「学校番号+学校名+年度+チーム名」という命名ルールに統一することで、チームが増えたときでも識別しやすくしています。

HINT!

校内でもTeamsを活用

各学校では、Teamsを校内でも積極的に活用しています。教員のチームを作成して、欠席連絡などをデジタル化したり、職員会議資料をTeams上で共有したりすることで印刷時間を削減するなど、教員の負担感の軽減に取り組んでいます。

Point

ルールと柔軟さの バランスが大切

チームやチャネルを作成する際は、守るべきルールを定める一方で、先生や児童生徒が使いやすくするための柔軟さも必要です。事例で、各校が工夫している点や苦労した点などが紹介されているので、チームとチャネルを構成するときの参考にするといいでしょう。

この章のまとめ

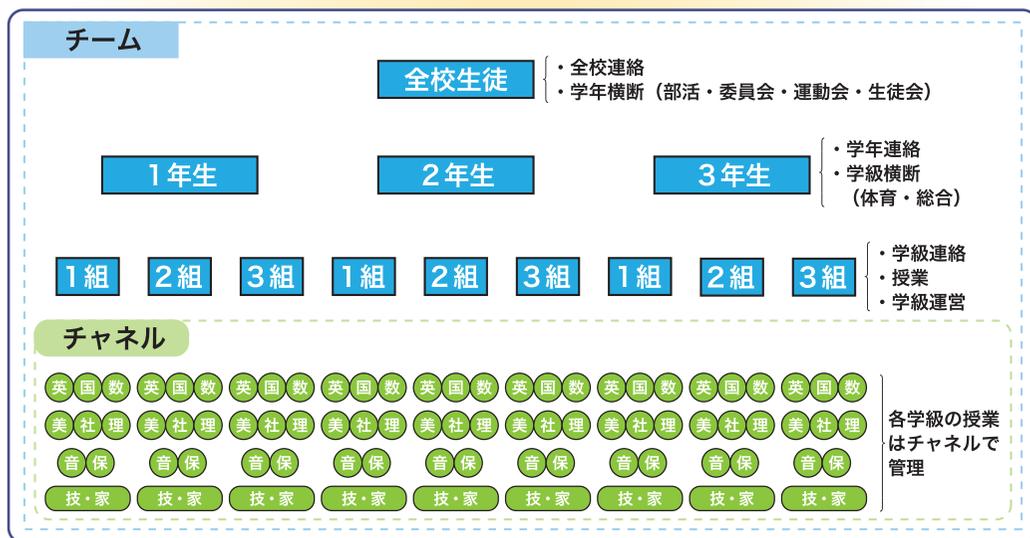
組織に合ったチームとチャンネルの構成を

Teamsのチームとチャンネルをどのように構成するかは、組織によってさまざまです。この章で紹介したTeamsを積極的に活用している組織の例を参考に、自らの環境に合わせて細かな部分を変えながら、最終的なチームとチャンネルの構成を決めるとよいでしょう。Teamsは柔軟な設計が可能のため、クラスや授業のチーム構成だけでなく、部活や行事、教職員の情報交換など、クラスや授業以外の

用途での活用も可能です。場合によっては、実在の組織構成だけにとらわれることなく、Teams上のバーチャルなチームでの活用も検討してみるとよいでしょう。また、チームとチャンネルの構成を考えることが、組織の運営方法や授業、校務の進め方を見直すきっかけになる可能性もあります。試行錯誤しながら、構成を検討してみましょう。

クラスか教科でチームを作る

チームやチャンネルの構成に決まりはないが、クラス単位のチームを作るか、教科単位のチームを作るかを検討し、目的に応じてチャンネルを用意する。



Microsoft 365 Education って何？

本書で解説している授業は「Microsoft 365 Education」の機能によって実現されています。Microsoft 365 Educationは、Officeアプリ、クラウドストレージ、Teamsなど、教育現場に必要なツールがセットになったクラウドサービスで、さまざまな機能を利用できます。

● 最新のOfficeアプリ



Word, Excel, PowerPointなど、最新のOfficeアプリをパソコンやタブレット、スマートフォンで利用できます。

● セキュリティ機能

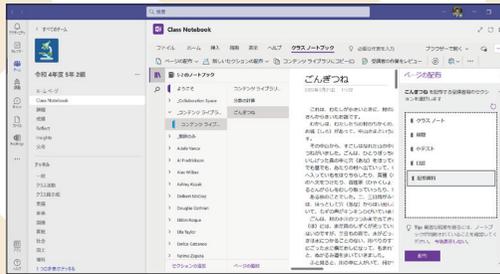


WindowsやOfficeの更新プログラムを定期的に取得できます。マルウェア対策も付属し安全に利用できます。

● 最新のWindowsと管理機能



最新のWindows 11と、校内の端末をクラウドで集中管理できる管理サービスIntuneを利用できます。



● Minecraft: Education Edition



教育版マイクラフトを利用できるため、楽しみながらプログラミング教育を実施できます。

● クラウドストレージ



データを安全なクラウドに保管でき、簡単に共有できるクラウドストレージのOneDriveを利用できます。

● 情報共有やオンライン会議



Teamsでクラスを作成し、オンラインで、授業をしたり、課題を管理したりできます。教職員の情報共有にも活用できます。

● ぴったりの Microsoft 365 Education ソリューションを見つけください。

Microsoft 365 A1 for Devices	Microsoft 365 A3	Microsoft 365 A5
各種 Office のデスクトップアプリケーションが使える、すべての学習者をサポートする、デバイスベースのシンプルなソリューションライセンスです。このライセンスは、Microsoft Intune for Education によるクラウド管理も提供しており、単一の管理画面でデバイス管理することで時間を節約できます。	Microsoft 365 A1 ライセンスに含まれるすべての機能に加え、予約やライブイベントなどの追加機能を備えたユーザーベースのライセンスで、場所を選ばず指導や学習が可能です。A3 プランでは、高度なセキュリティと管理、分析も提供されます。	Microsoft Defender で安全性を優先し、マイクロソフトの最も堅牢なセキュリティ、モビリティ、管理、およびコンプライアンスを学校向けサブスクリプションに追加しています。Microsoft 365 A3 のすべての指導・学習機能が備わっています。

Office 365 A1

無料の Office 365 Web アプリケーションで Teams for Education、Outlook、Word、PowerPoint、Excel、OneNote などのおなじみのアプリケーションをご利用いただけます。

● ライセンスの詳細、最新の情報は「各業種向けライセンス オプション」(microsoft.com)のページをご参照ください。



授業で活用したいTeamsの便利な機能

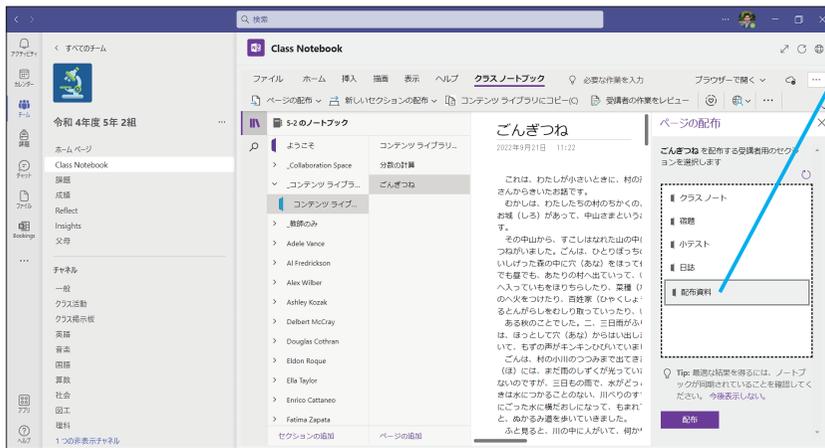
Teamsには、授業の実施やクラス運営のための便利な機能が多数搭載されています。Teamsならではの便利な機能を見てみましょう。

クラスに教材や資料を配布できるClass Notebook

Class Notebookは、さまざまな情報を入力できるデジタルノートです。クラス全員で共有できるノートや児童生徒が個人的に使えるノートなどを用意することができます。

●教科書や資料を配布できる

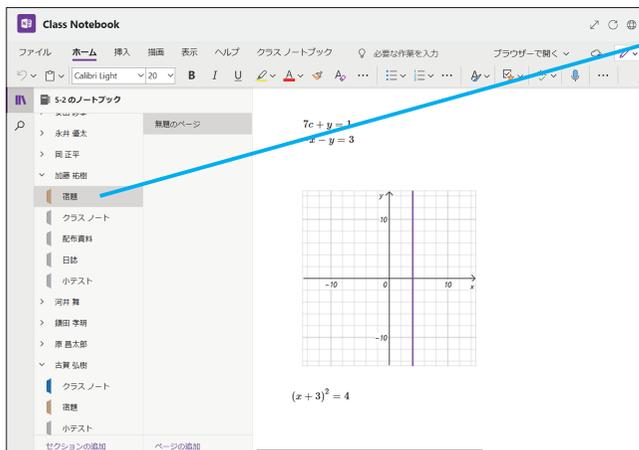
作成した資料や課題を指定した個人やクラス全員に、簡単に配布できます。副教材やクラス通信などの配布に役立てることができます。また、デジタル教科書が本格導入された際に、クラスノートブックから児童生徒にデジタル教科書の資料などを配布することもできます。



教材を児童生徒それぞれの個別のセクションに簡単に配布できる

●生徒のノートや課題を確認できる

先生は、児童生徒の個人ノートをオンラインで参照することができます。このため、授業ノートの記述状況を見たり、課題をチェックしたりできます。物理的なノートの提出・返却が必要なくなるので効率的に学習をサポートできます。



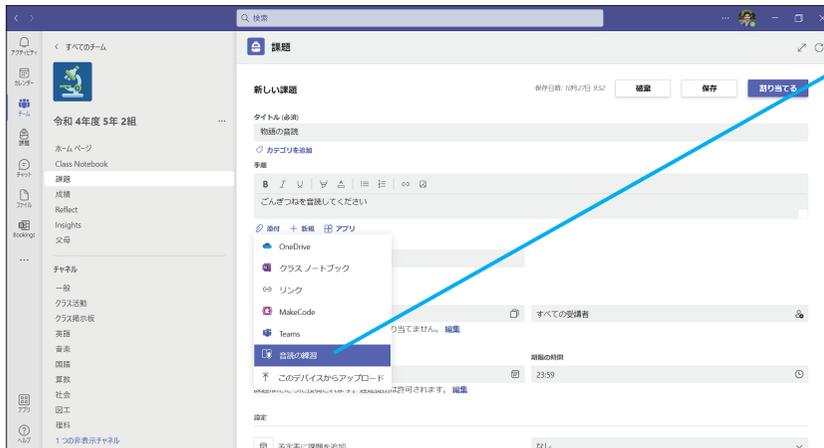
先生は児童生徒のノートを閲覧して、宿題や課題の進行・提出状況を知ることができる

録画やAIによる評価ができる音読の課題 (Reading Progress)

Teamsでは、児童生徒に課題を提示し、その提出状況を管理したり、評価をしたりできます。この課題として、ぜひ活用したいのが「音読の課題」です。児童生徒に題材を提示し、実際に声に出して読む様子を録画させ、先生は再生して評価できます。

●簡単に音読の課題を作成できる

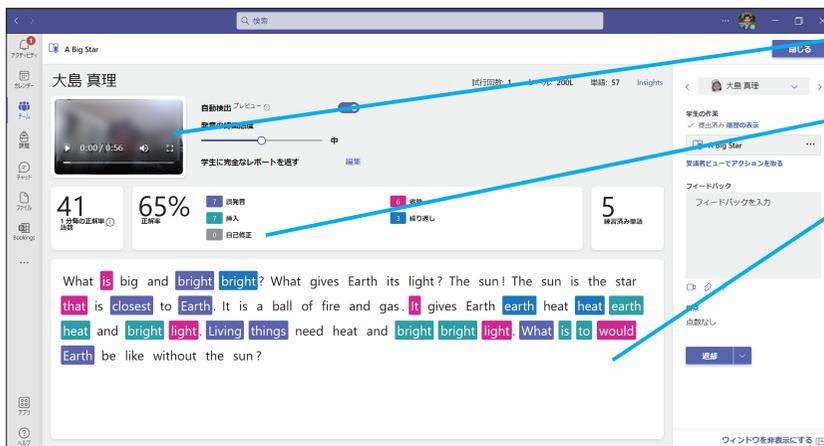
音読の課題を出すのに難しい設定は必要ありません。読んでほしい題材 (WordやPDF) などを用意し、課題の添付として「音読の課題」を選び、画面の指示に従って設定するだけで簡単です。英語の音読課題であれば、提携しているReadWorks社のコンテンツを課題として利用することも可能です。また、児童生徒も画面で録画を開始するだけと操作が簡単なおうえ、提出するまで何度も撮り直しができるので、自然に練習にもつながります。



課題の添付ファイルとして「音読の課題」を選び、題材を指定するだけで利用できる

●映像やAIの評価を参考にできる

児童生徒が音読している様子を録画・再生できるうえ、AIによって判断された総合スコアを表示したり、言語の発音や読み直しの状況を色分けして表示したりできます。英語や日本語など、複数の言語に対応しています。



児童生徒が実際に音読している様子を記録できる

音読の結果がスコアとして表示される

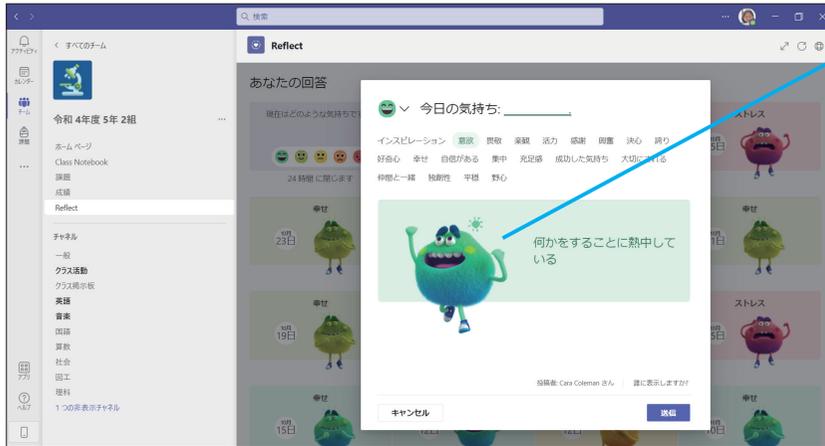
発音の間違いや読み直しなどの状況が視覚化される

児童生徒の状態や変化を把握するリフレクト (Reflect) とインサイト (Insights)

リフレクトを利用することで、「今の気分は？」などの簡単なアンケートを作成し、児童生徒に今の心の状態を回答してもらうことができます。また、インサイトによってTeams上の活動をAIによって自動的に診断し、フォローが必要な児童生徒などを発見するのに役立てることができます。

●児童生徒の状態を把握するリフレクト

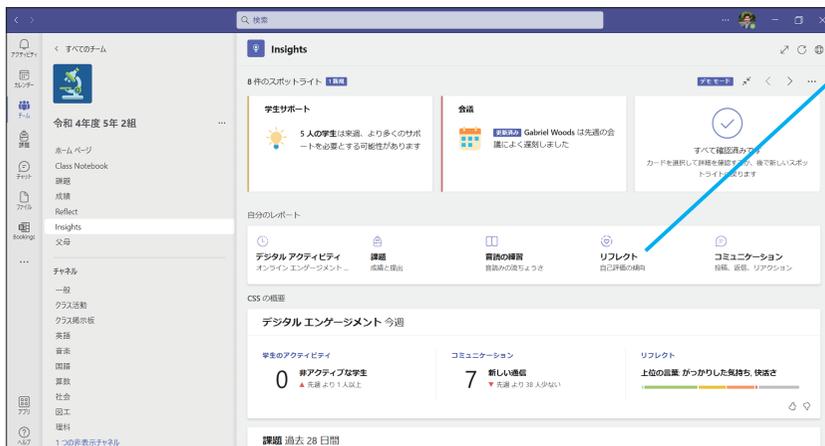
児童生徒に「今の気分」について尋ねることができます。かわいいモンスターの表情と「意欲」などのキーワードを選ぶだけで簡単に回答できるので、毎日の習慣として利用できます。児童生徒の変化に気付くサインとして活用できます。また、授業の理解度についてもアンケートを採ることができます。



児童生徒が毎日の気分などをアイコンで簡単に申告できる

●クラス全体の様子を俯瞰^{ふかん}でとらえられるインサイト

リフレクトの結果や児童生徒のデジタル活動の状況をインサイトで視覚化できます。サポートが必要な児童生徒を見つけたり、気持ちの揺らぎがみられる児童生徒に気付くことができます。



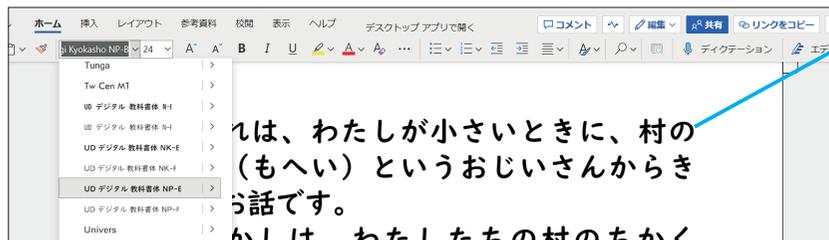
リフレクトの結果やサポートが必要な児童生徒をレポートで確認できる

多様な児童生徒をサポートするアクセシビリティ

アクセシビリティは、学習に困難がある児童生徒や外国語を母国語とする児童生徒でも、変わりなく授業を受けられるようにするさまざまな機能の集まりです。見る、聞く、話すに壁を作らない授業ができます。これらの機能は、WindowsやOffice製品に搭載されています。

●読みやすいUDデジタル教科書体フォント

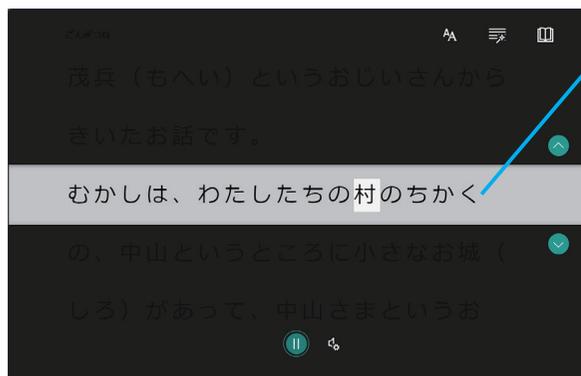
弱視や識字に困難がある児童生徒でも読みやすいUDデジタル教科書体フォント（Windowsに標準搭載）を利用できます。



教科書向けの読みやすいフォントを使える

●文字に集中して読み上げるイマーシブリーダー

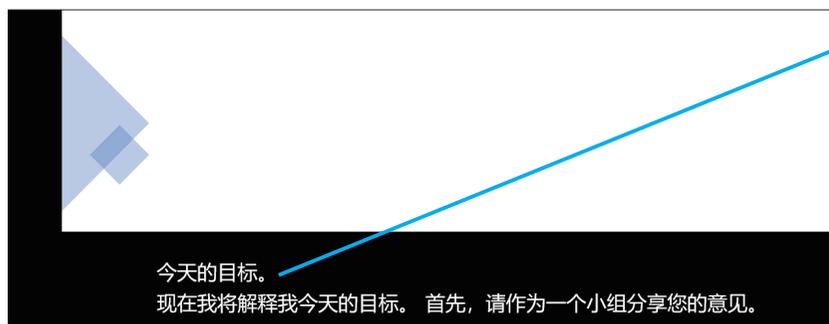
現在、読み上げている部分だけをハイライトし、聞きやすい自然な音声で読み上げることなどできるイマーシブリーダーを利用できます。



現在読み上げている行にフォーカスして集中できる

●字幕表示

PowerPointのプレゼンテーションでは、字幕の機能を使ってリアルタイムに字幕を表示させ、話し手の言葉を選択した言語に自動翻訳して表示することも可能です。Teamsミーティングでも音声を字幕にしたり、音声をテキストデータとして保管したりできます。



さまざまな言語の字幕を自動生成してくれる

■監修

東原義訓 (ひがしばら よしのり) higashi@estrose.jp

信州大学名誉教授／(一社)教育情報化推進機構理事長／東原学
び研究所代表。デジタル庁デジタル推進委員。文部科学省ICT活
用教育アドバイザー。1954年長野県生まれ。筑波大学大学院、
助手、信州大学助教授、教授を経て、現在に至る。専門は教育工
学。文部科学省、総務省、経済産業省の教育の情報化にかかわる
各種委員を歴任。主な著書は『未来の教室』筑波出版会(1986年)。
文部科学大臣表彰(情報化促進貢献個人など表彰)(2013年)。

■著者

清水理史 (しみず まさし) mshimizu@shimiz.org

1971年東京都出身のフリーライター。雑誌やWeb媒体を中心に
OSやネットワーク、ブロードバンド関連の記事を数多く執筆。
「INTERNET Watch」にて「イニシャルB」を連載中。主な著書
に『できるWindows 11』『できるWindows 11 パーフェクトブ
ック 困った! & 便利ワザ大全』『できるMicrosoft Teams for
Education すぐに始めるオンライン授業』『できるはんこレス入門
PDFと電子署名の基本が身に付く本』などがある。

<制作協力> (五十音順)

大阪市立北鶴橋小学校 校長 光井栄雄

岐阜県教育委員会 教育総務課 ICT教育推進室 ICT教育企画係長 岩口一平

岐阜県教育委員会 教育総務課 ICT教育推進室 情報基盤係 管理主事 小澤智也

渋谷区教育委員会 教育長 五十嵐俊子

渋谷区立千駄谷小学校 校長 中野有一郎

渋谷区立千駄谷小学校 主幹教諭 鍋谷正尉

聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校 教諭 亀川かすみ

聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校 教諭 増田瑞綺

東京学芸大学附属小金井小学校 情報部長 教諭 小池翔太

『できるICT授業 Teams for EducationとMicrosoft 365で実現する対話的な学び』(以下、本書)は、日本マイクロソフト株式会社から株式会社インプレスが委託を受けて制作した特別版です。本書は無償で提供されるものであり、本書の使用または使用不能により生じたお客様の損害に対して、著者、日本マイクロソフト株式会社ならびに株式会社インプレスは一切の責任を負いかねます。また、本書に関するお問い合わせはお受けしておりません。あらかじめご了承ください。

アイシーティー じゅぎょう
できるICT 授業
チームズ フォー エデュケーション マイクロソフト
Teams for Education と Microsoft 365 で
じつげん たいわてき まな
実現する対話的な学び

編集 ————— できるシリーズ編集部
執筆 ————— 清水理史
シリーズロゴデザイン — 山岡デザイン事務所
カバーデザイン————— 伊藤忠インタラクティブ株式会社
カバー画像————— PIXTA
本文イメージイラスト — 原田 香
DTP制作 ————— 株式会社トップスタジオ

2022年11月 初版発行

発行 株式会社インプレス

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

Copyright © 2022 Masashi Shimizu. and Impress Corporation.
All rights reserved.

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および
発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

『できるサポート』では、本書に関するお問い合わせにはお答えしておりません。
あらかじめご了承ください。

本書を読み終えた方へ

できるシリーズのご案内



※1:当社調べ ※2:大手書店チェーン調べ

できるWord 2021

Office2021 & Microsoft 365両対応



田中亘 &
できるシリーズ編集部
定価：1,298円
(本体1,180円+税10%)

文書作成の基本から、見栄えのするデザイン、マクロを使った効率化までWordのすべてが1冊でわかる！ すぐに使える練習用ファイル付き。

できるExcel 2021

Office2021 & Microsoft 365両対応



羽毛田睦士 &
できるシリーズ編集部
定価：1,298円
(本体1,180円+税10%)

表計算の基本から、関数を使った作業効率アップ、データ集計の方法まで仕事に役立つExcelの使い方がわかる！ すぐに使える練習用ファイル付き。

できるPowerPoint 2021

Office2021 & Microsoft 365両対応



井上香緒里 &
できるシリーズ編集部
定価：1,298円
(本体1,180円+税10%)

PowerPointの基本操作から作業を効率化するテクニックまで、役立つノウハウが満載。この1冊でプレゼン資料の作成に必要な知識がしっかり身に付く！

できるExcel関数

Office 2021/2019/2016 & Microsoft 365対応



尾崎裕子 &
できるシリーズ編集部
定価：1,738円
(本体1,580円+税10%)

関数の基礎知識に加え、業務に役立つ関数を厳選して解説。豊富なイラストで関数の仕組みがよくわかります。YouTube動画などの特典も充実！

できるExcelピボットテーブル

Office 2021/2019/2016 & Microsoft 365対応



門脇香奈子 &
できるシリーズ編集部
定価：2,530円
(本体2,300円+税10%)

ピボットテーブルの基本をはじめ、リレーションシップやパワーピボットなどのテクニックを解説。使いこなしのスキルが無理なく身に付きます。

できるOutlook 2021

Office2021 & Microsoft 365両対応



山田祥平 &
できるシリーズ編集部
定価：1,628円
(本体1,480円+税10%)

Outlookを使っているビジネスパーソン必見！ メール整理やスマホ連携で仕事を加速する使い方を紹介。メール作業をスピードアップできます。

できるWindows 11

2023年 改訂2版



法林岳之・一ヶ谷兼乃・清水理史 &
できるシリーズ編集部
定価：1,100円
(本体1,000円+税10%)

2022年9月のアップデートに完全対応！ 基本編と活用編の2部構成で、一歩進んだ便利な使い方がわかります。時短に役立つ限定冊子付き！

できるWindows 11

パーフェクトブック 困った! & 便利ワザ大全

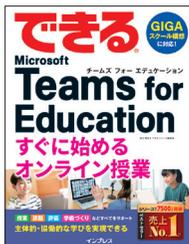


法林岳之・一ヶ谷兼乃・清水理史 &
できるシリーズ編集部
定価：1,628円
(本体1,480円+税10%)

合計1100項目の圧倒的な情報量でWindows 11の基本操作から便利ワザまで詳細に解説！ Zoomの基本操作がわかる限定冊子付き。

できるMicrosoft Teams for Education

すぐに始めるオンライン授業



清水理史 &
できるシリーズ編集部
定価：2,200円
(本体2,000円+税10%)

Teamsの基本から、オンライン授業の進め方、課題の提示・評価を具体的方法を実践例がわかります。

マイクロソフトが提供する教育用ソリューション

文部科学省が掲げる、児童生徒1人1台端末整備といったICT教育環境の実現に向けた、マイクロソフトの教育ソリューションをご紹介します。

各ご担当者さまにご参照、ご活用いただける情報をWebページに公開し随時最新情報を更新しております。スマートフォンなどで2次元バーコードを読み込み、最新情報をご確認ください。

● マイクロソフトの提供するGIGAスクールパッケージ



最新情報
情報ポータル

教育関係者の皆さまに有益なマイクロソフト製品情報や活用事例などの情報をこちらのサイトに集約してご紹介しております。



● マイクロソフトが提供する学びのプラットフォーム Microsoft 365 Education



Microsoft が提供する学びのプラットフォーム Microsoft 365 Education

Microsoft 365 Education

Microsoft 365 Educationの製品情報や活用事例を多数掲載しています。



● 元教員社員考案の授業・校務活用方法

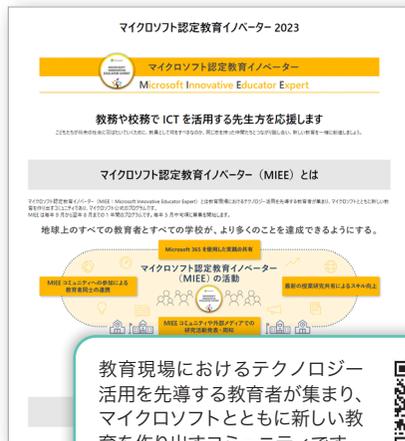


実践したのテーマ
高校活用事例掲載
元教員社員考案の授業・校務活用方法

教育委員会さまや学校関係者さまへ、すぐに活用いただける情報をご紹介します。



● マイクロソフト認定教育イノベーター (MIEE)のご案内



マイクロソフト認定教育イノベーター 2023

Microsoft Innovative Educator Expert

教務や校務でICTを活用する先生方を応援します

Microsoft 365認定教育イノベーター (MIEE)の活動

教育現場におけるテクノロジー活用を先導する教育者が集まり、マイクロソフトとともに新しい教育を作り出すコミュニティです。



教育機関ご担当者さま向けGIGAスクールお問い合わせ窓口
お気軽にお電話ください

● 受付時間 : 9:00 ~ 17:30

月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始、マイクロソフト休業日を除く)

電話番号 : 0120-933-308

「できるシリーズ」は、画面で見せる入門書の元祖です。

見開き完結のレッスンを基本とし、レッスン1から順を追って

進めていくことで、楽しみながらパソコンの操作を学べます。

また、レッスンを進めるにしたがって、必要な知識が身に付く構成に

なっています。できるシリーズなら、はじめての人でも安心です。

- オールカラーの大きな画面！操作手順がよく見える。
- 詳しい操作手順とポイントで丁寧に解説。
- 操作を間違っても大丈夫！対処方法がすぐわかる。
- 手順の横にヒントを掲載。関連知識も身に付く！